





原
あらうのいそぐあはれてあまのつゆのいそぐ

いー宿のいそぐ

はな
いそぐあはれてあまのつゆのいそぐ

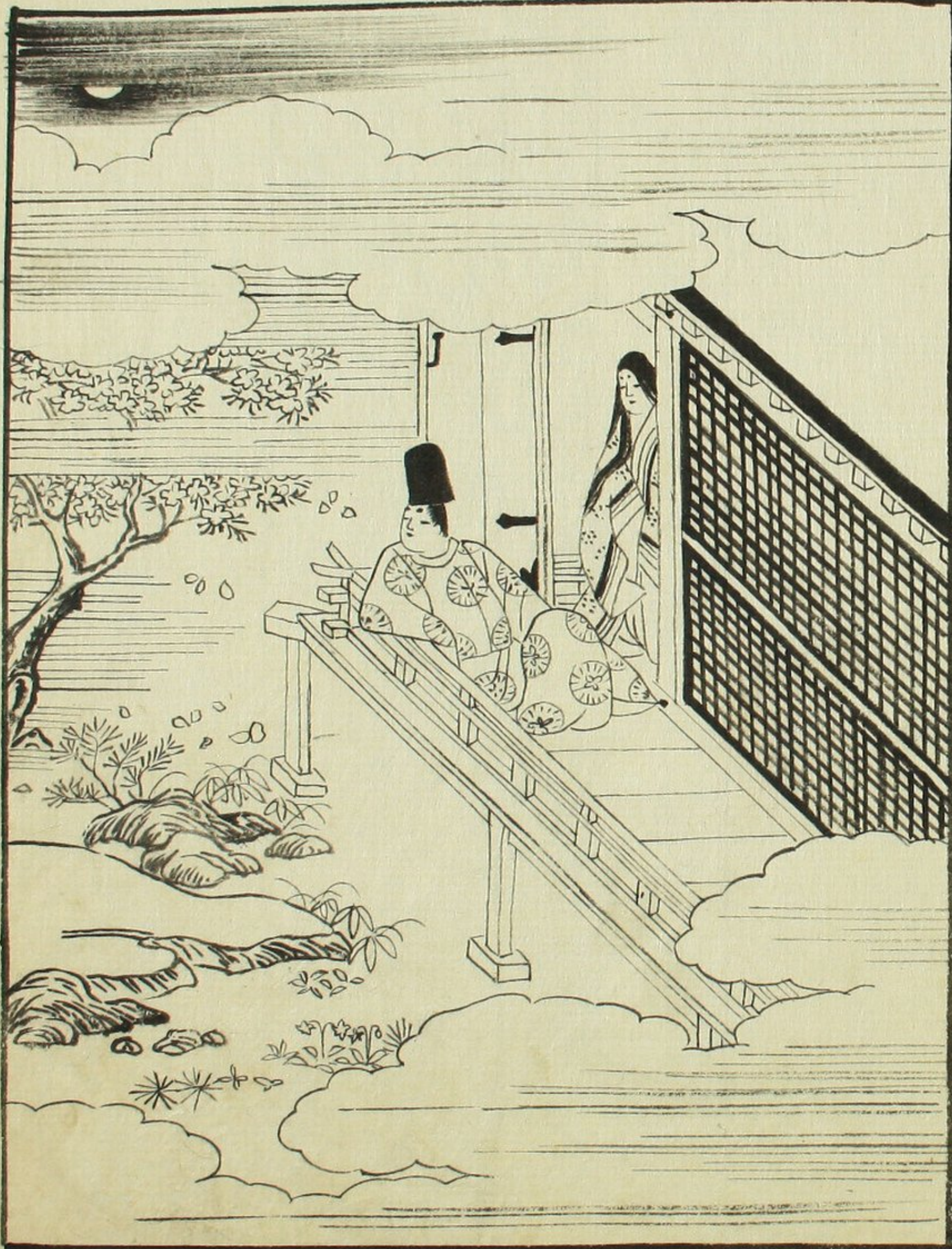
原
あらうのいそぐあはれてあまのつゆのいそぐ

原
あらうのいそぐあはれてあまのつゆのいそぐ

菅散置 うーを名とさす

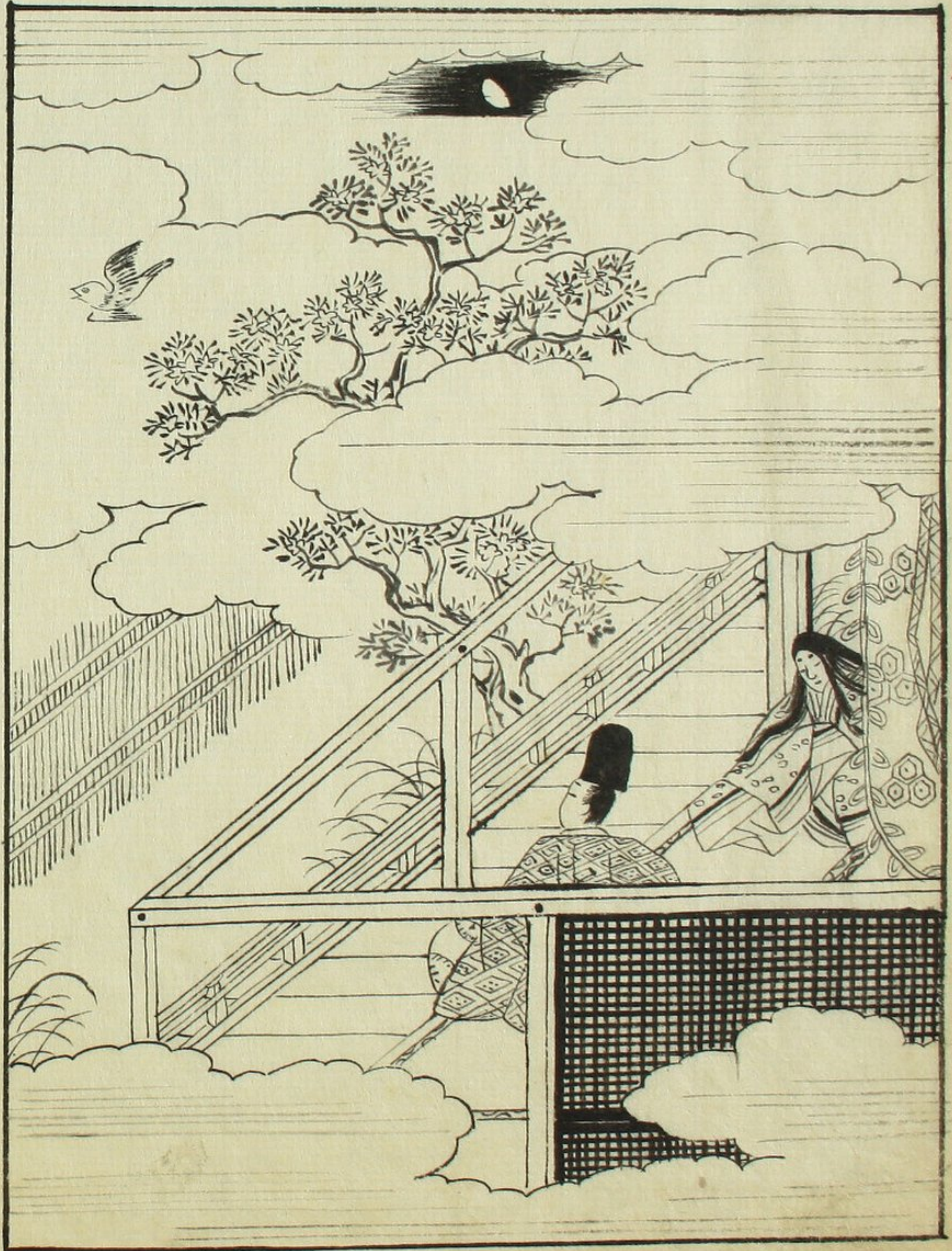
菅^たのたふちのうーはあまのつゆのいそぐ

次一源氏女女の三月の年



九次 平と河を流るる
中か松をまわらぬは松竹といふらんすまはうらふかた

後



花敬一



色邊心まへへ 煙もまがらわとあまは塩
 せうらみぞや
 大衆 雲の心まへへ 煙もまがらわとあまは塩
 一雲の心まへへ
 原 月いろしてまへへ 煙もまがらわとあまは塩
 りんげいばらまへへ
 紫 雲の心まへへ 煙もまがらわとあまは塩
 ながるまへへ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ

源 花の香の匂いよ 花の香の匂いよ
花の香の匂いよ 花の香の匂いよ



命
ちかしくもちるうれどりまゝの如と
しつりふもいふいふ

源
いづの世のつれなきやうにけり
ちげんはうにけり

源
あつめ命のつれなきのつれを
あつめいふいふ

源
うらぬあつめいふいふ
られぬあつめいふ

源
あつめいふいふいふいふいふ
あつめいふいふいふ



本^方原 松^原の海を渡る舟の
舟人志願すべし

あまのやうにあまをん
原

海^原の舟を渡る舟人の志願すべし
勝

舟^原の舟を渡る舟人の志願すべし
舟

^乳眞云
 今も此の世の事は
 りかへしとて言ふ
 事なりとも
 言ふ事
^保徳も
 今も此の世の事は
 りかへしとて言ふ
 事なりとも
 言ふ事
^保徳も
 今も此の世の事は
 りかへしとて言ふ
 事なりとも
 言ふ事
^保徳も





あれまきろ折の志のぶをらまめつーげ
もあめのうろ袖うれ

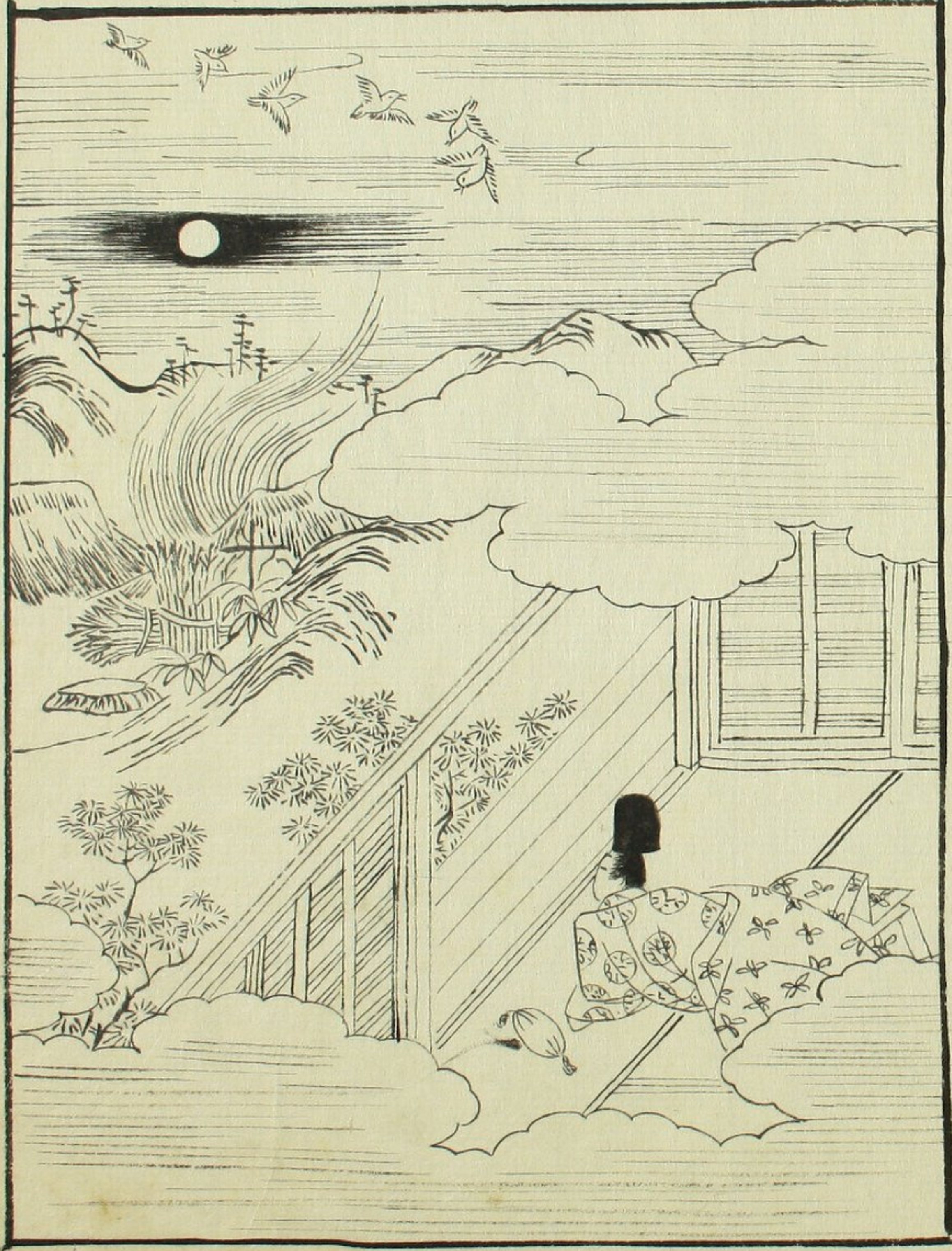
源 雲とびてうろねままがよみ濁波らあまら
むやうらうん

源 知らりいひーんくのいんまねやーびの
えよー志のろーんとのぬいんまーん

良清 けさつらね芳のよぞあまぬゆらりその
よれなるしねどとみアを捕

雙 ふうらうらうらうらうらうらうらうらうら
よとあまひげらぬさのねとのぶ

巻八 ともまがしびのやぶらうらうらうら
とくれね程をるうべさじ



次八

源 みる海をながるる川をわたりありん月の

かゝる花のちよき

源 うらやみさくらに花をまかせしとてさくら

みづいよもあまの袖をか

源 春のさきよのさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

源 さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくら

源 さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

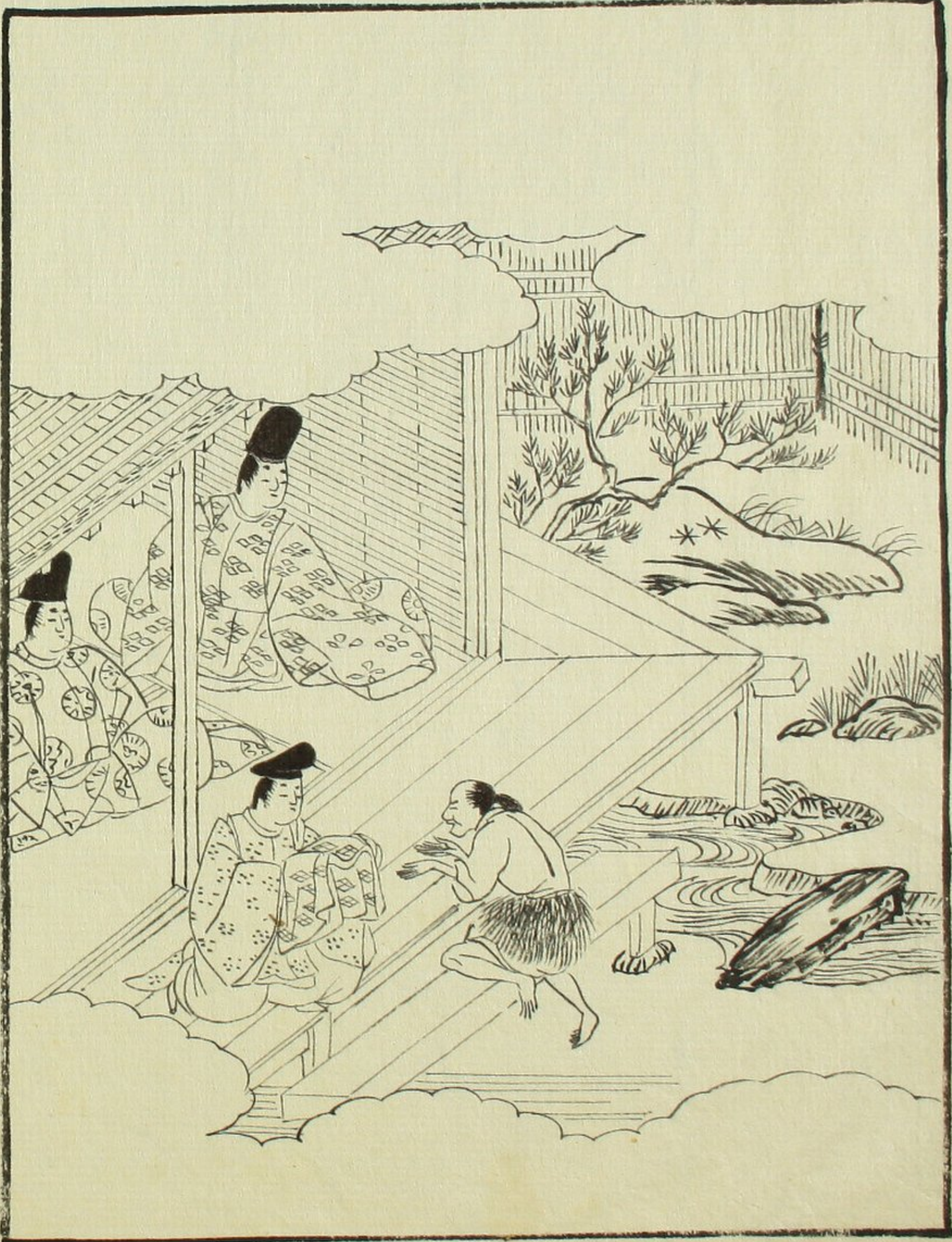
さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら

さくらをまかせしとてさくらをまかせしとてさくら



ぞんじやうのふらふらとめいふふふふふふふふふふふふふふふふ
 あらぬこのやうなやうな霜の後の雪と
 すげぬさあやうなうらやうな接のあま
 ーあやうなやうなうらやうな秋のあま
 ちもさあやうなうらやうな雪のあま
 西よりのうらやうなうらやうな
 ちびさの雪はこれまあやうな月の
 らららららららららららららららら例の
 海どろまれぬ院わづらひのそらまき鳥つばめの夜よき
源ともし鳥つばめの急いそよき院わづらひひとり福元
 の庭にわもこれまあやうな人もなれが返そ
 ひとりうらやうなうらやう

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

あつちのうらな

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

ふりくちをくたえ

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

なやみ

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

のぞき

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

ふりくちをくたえ

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

ふりくちをくたえ

終

十明石 子とくたえをなす

^本子とくたえ...
~~~~~  
~~~~~

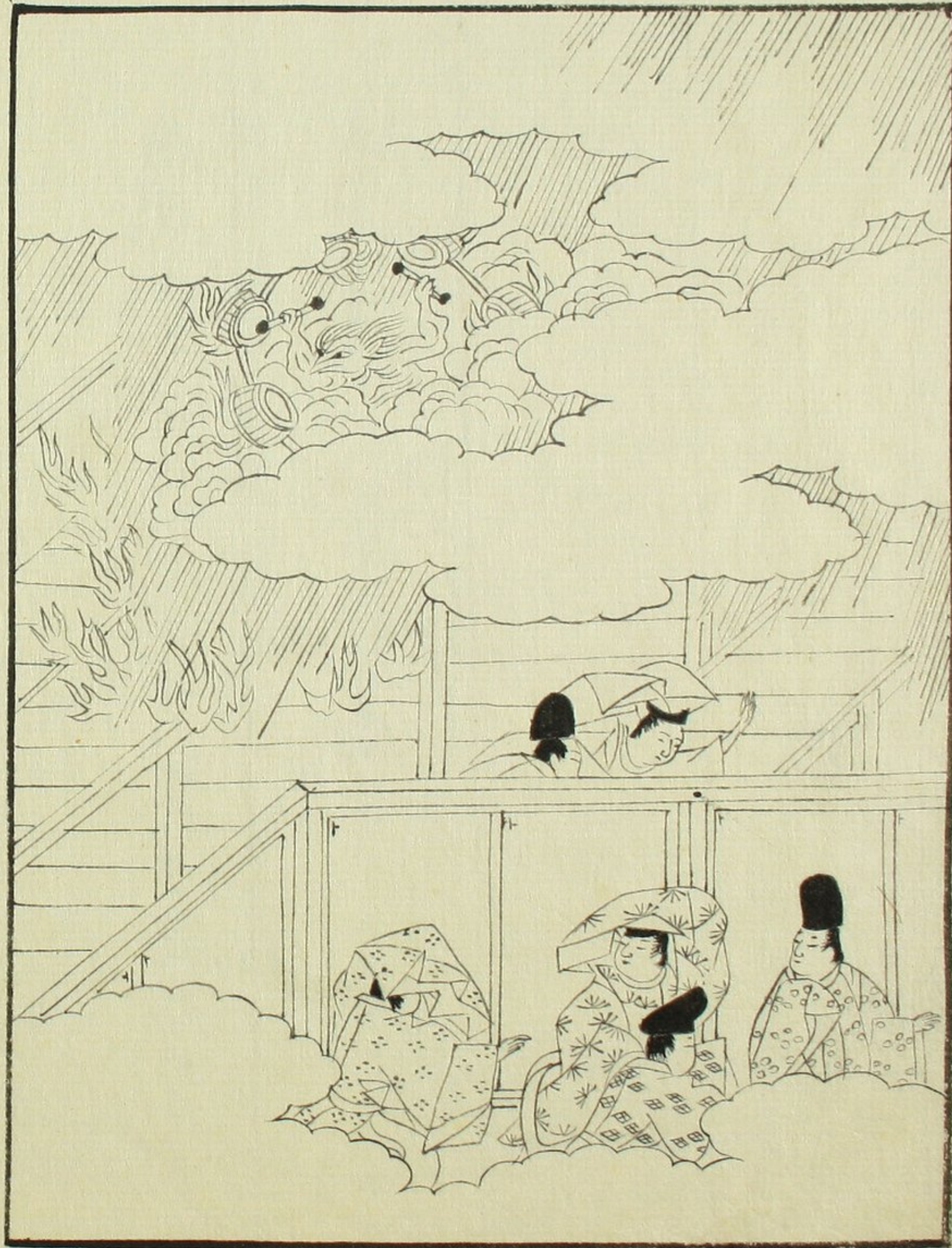
源氏廿六文ノ三月より廿七文まで

浦月やいろよ...
~~~~~  
~~~~~

なやみ

^原ふりくちをくたえ人のきり...
~~~~~  
~~~~~

ふりくちをくたえ



源
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

源  
~~~~~

~~~~~

源  
~~~~~

源
~~~~~

源  
~~~~~

~~~~~

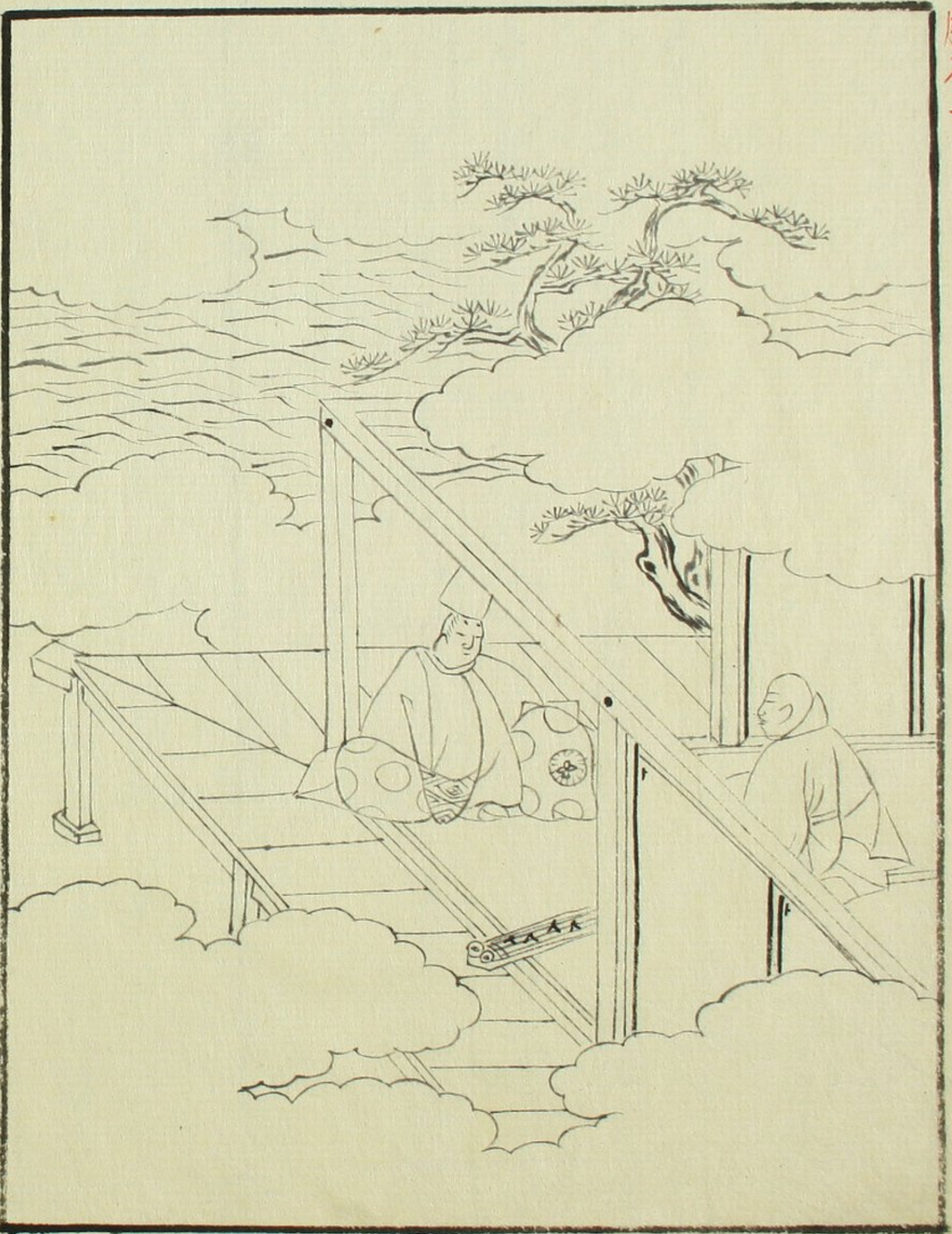
源  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

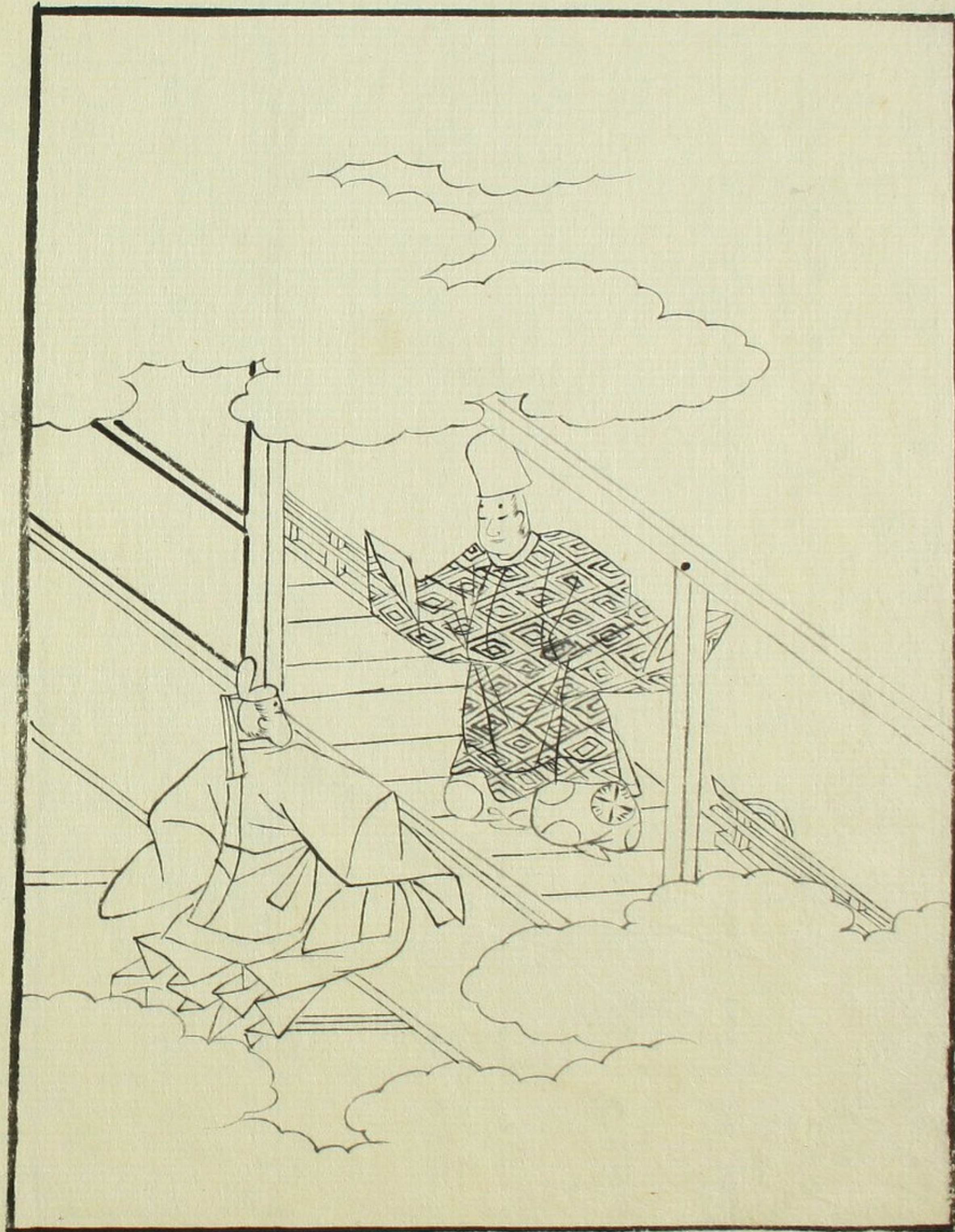
源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十
源 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

明石五上



明石曲



ついでにわらわらめはきんひとどれうとせ

のまよとてなまのまよ

まよのまよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

まよとてなまのまよとてなまのまよ

～~~~~～~~~~～~~~~～~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~～~~~~～~~~~

~~~~の後に集りてあり~~~~

~~~~～~~~~～~~~~～~~~~

~~~~～~~~~～~~~~～~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~～~~~~～~~~~

~~~~～~~~~～~~~~～~~~~

~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~～~~~~～~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~～~~~~～~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~

~~~~<sup>係</sup>~~~~

~~~~

入江  
いづれもさうさうさうさうさう  
けささうさうさうさうさう

源  
いづれもさうさうさうさうさう  
いづれもさうさうさうさうさう



明石六

源 しのぶのついでに  
あはれよふとくさうあはれ  
まのうしろのうしろ  
袖は羽石のうしろ  
うしろのうしろ  
本分 願つあいのうしろ  
あはれよふとくさうあはれ  
うしろのうしろ  
うしろのうしろ

冊石七

あはれよふとくさうあはれ  
まのうしろのうしろ  
うしろのうしろ  
うしろのうしろ  
袖のうしろ

十一 渡瀬

うらまの渡瀬名をせり

本

と依はらうらまの渡瀬名をせり  
源氏七代白河院元年十月五日



渡瀬一



わびきさききん〜  
Sawashiki (in case)

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

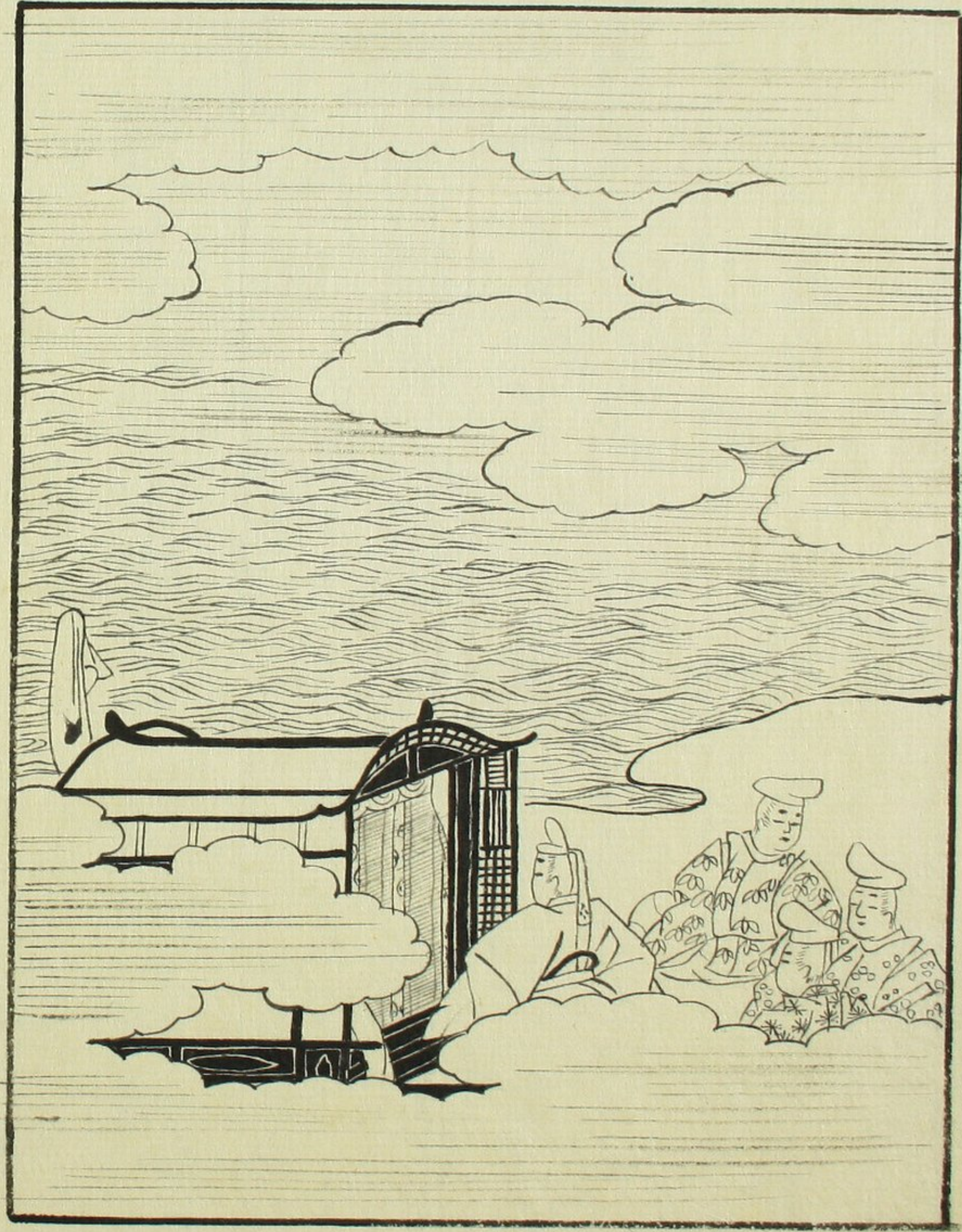
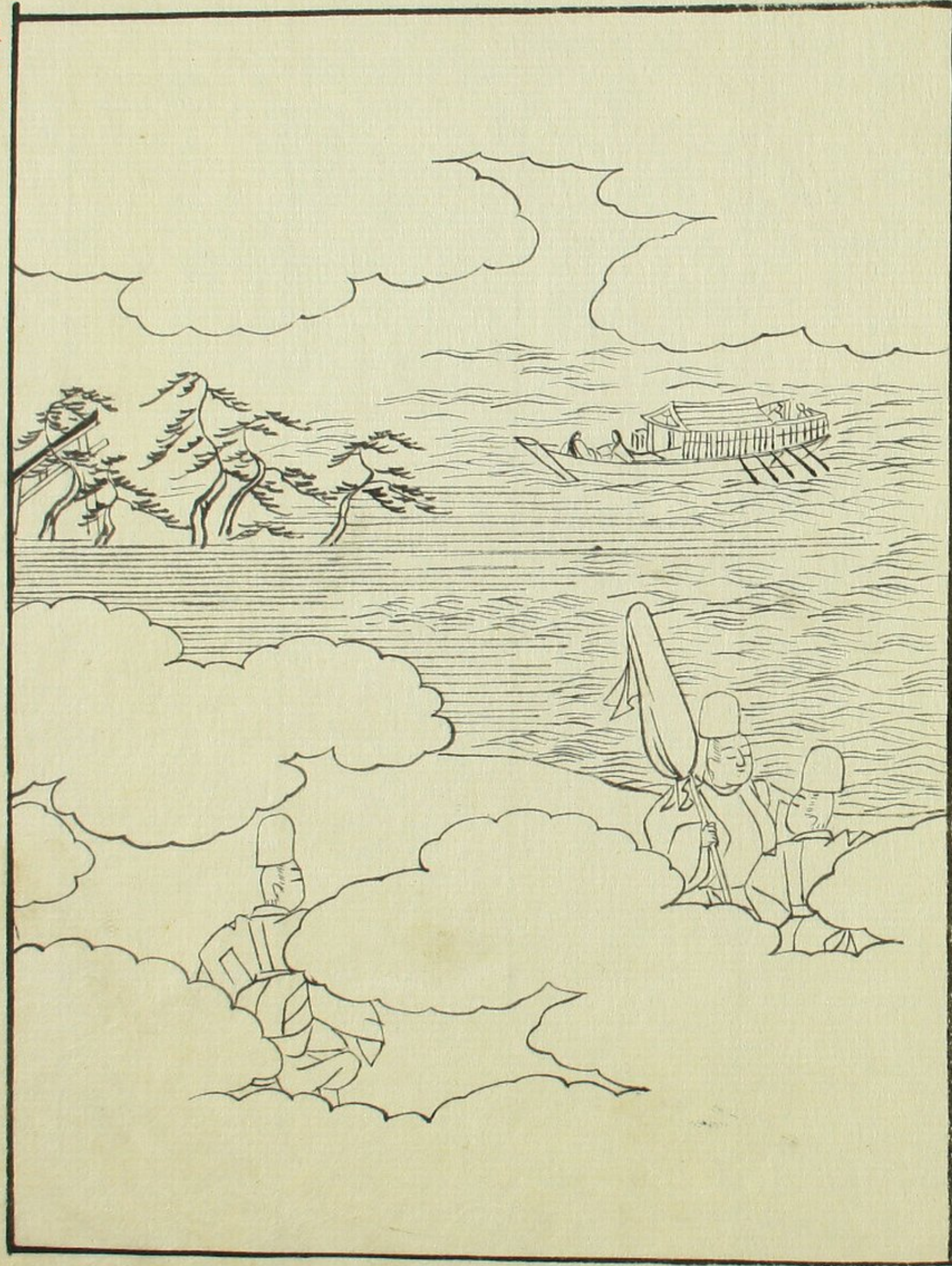
わびきさききん〜  
わびきさききん〜

わびきさききん〜  
わびきさききん〜

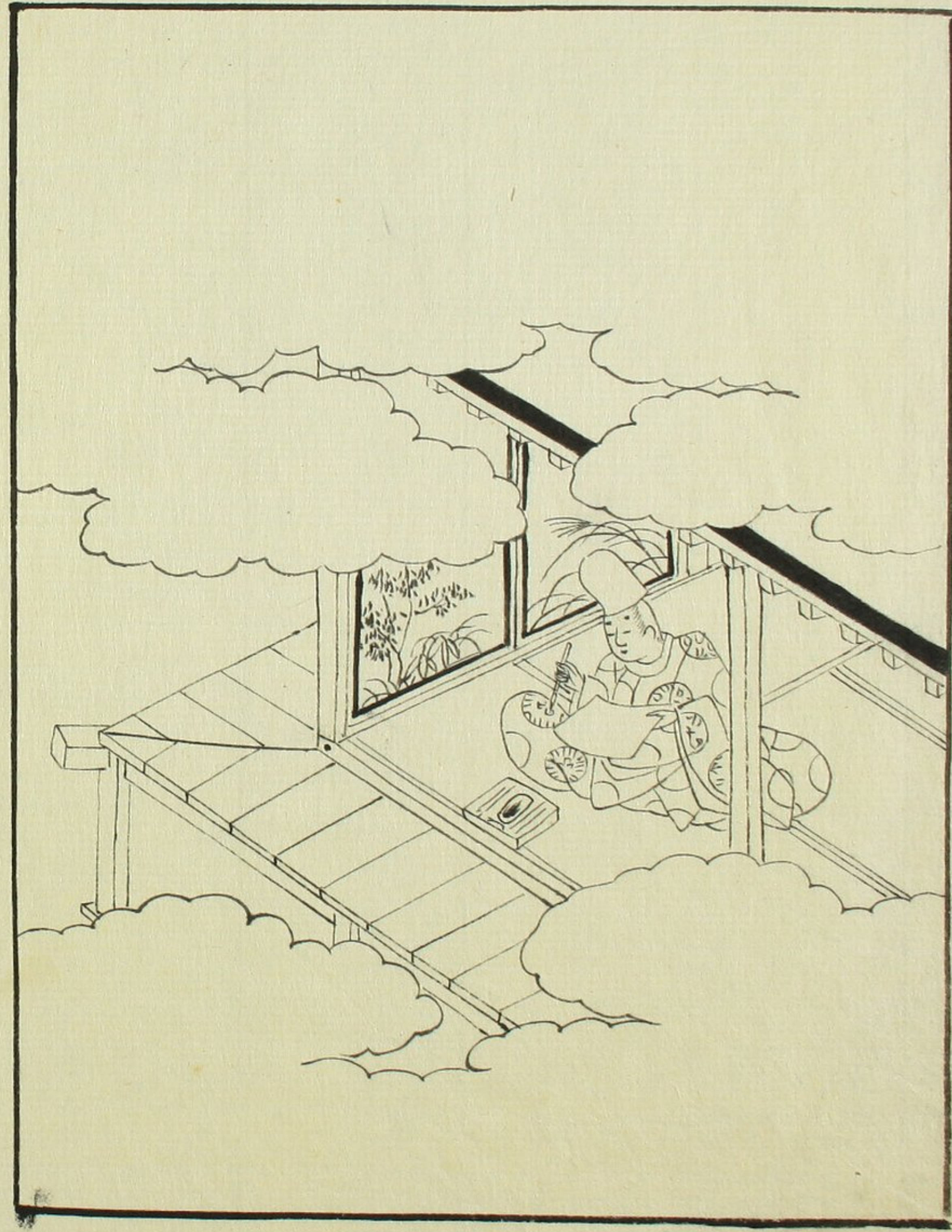
わびきさききん〜  
わびきさききん〜

鳴のらもこ〜





原  
The ... of ...  
The ... of ...

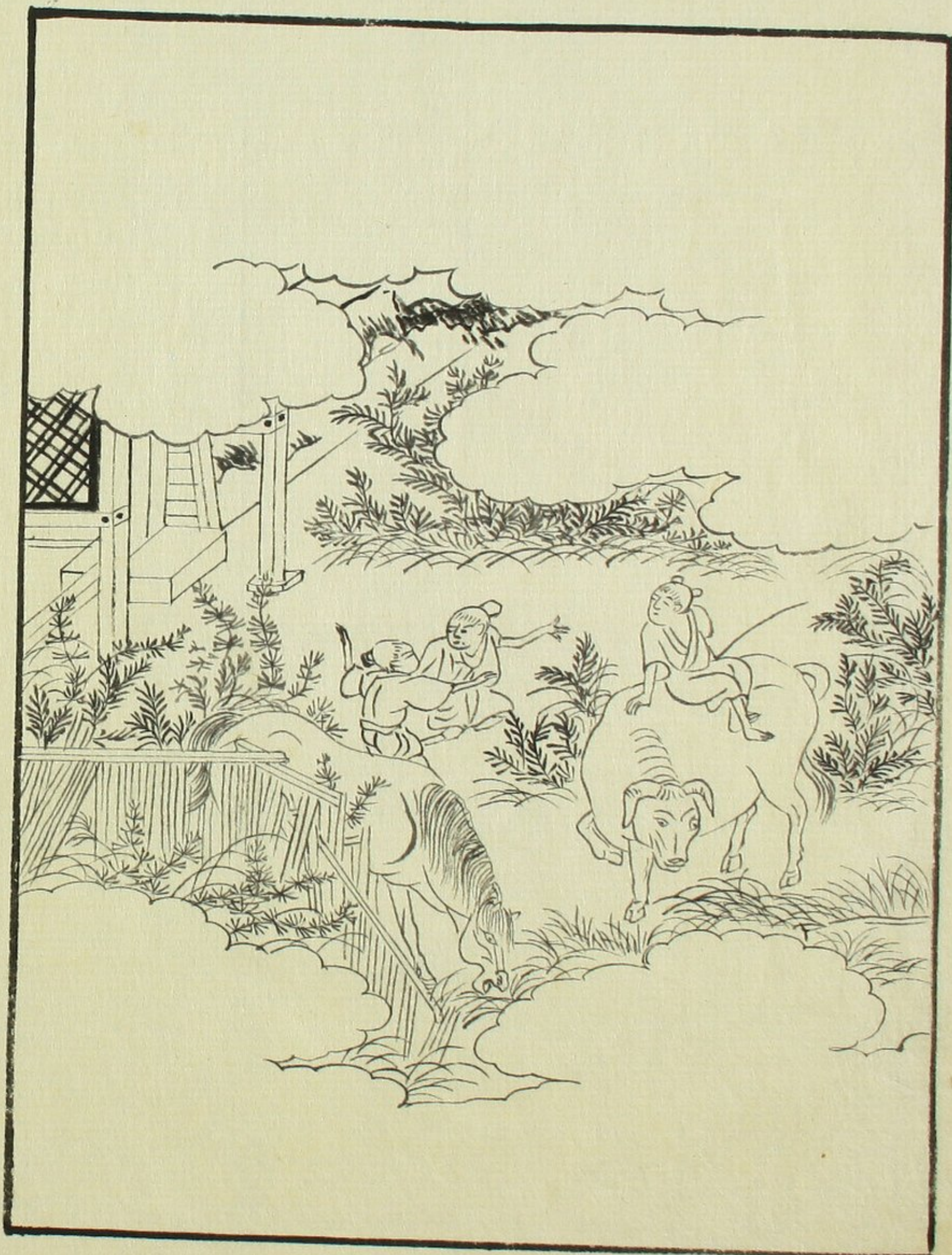


終

源氏物語の巻

第一卷生撰のうらび也并と約を名とす

おが ありとも我をよめみらるる御心づかしの御



末  
の神もつちのつら

かよふころれあま

復

の神もつちのつら

末  
の神もつちのつら

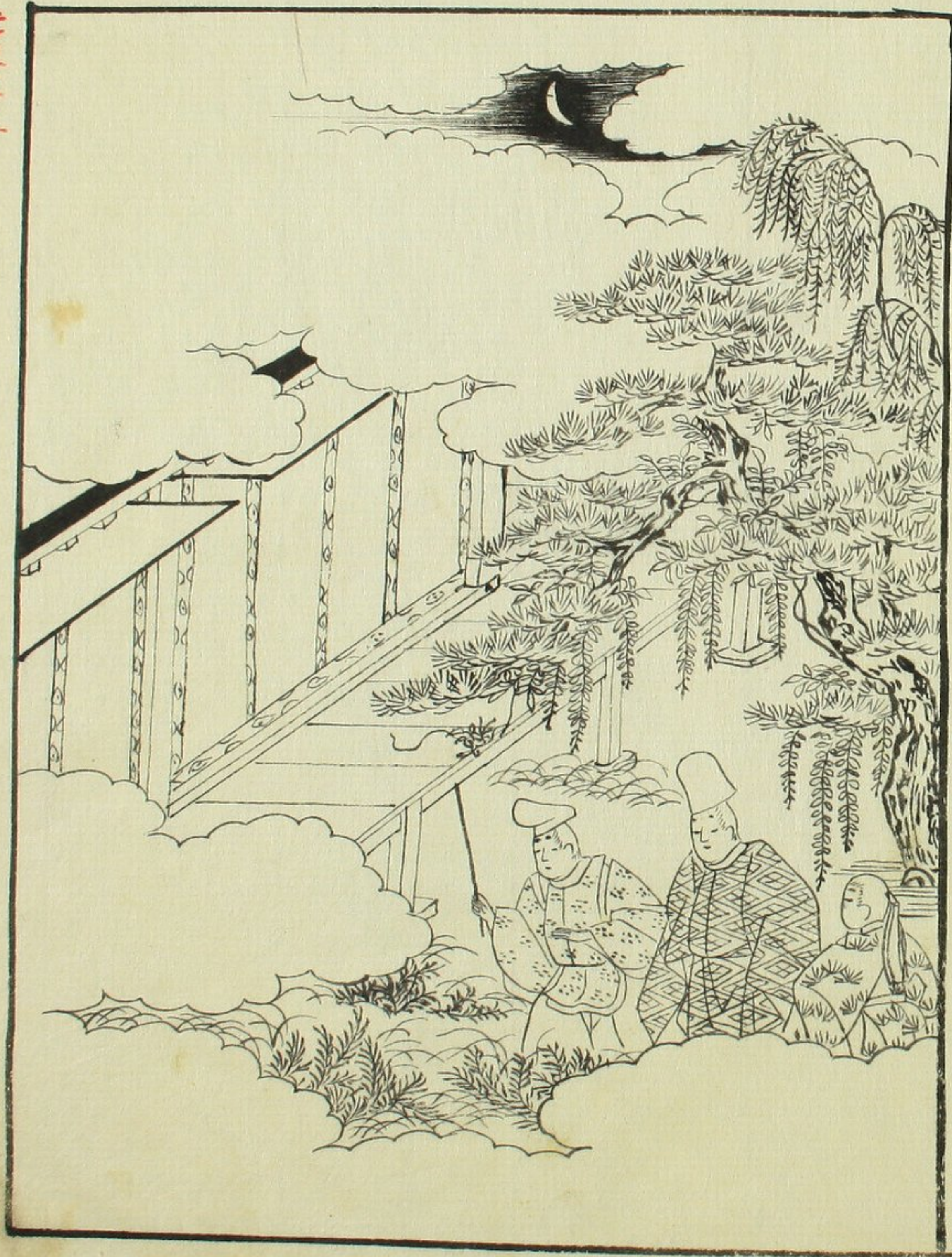
の神もつちのつら

本

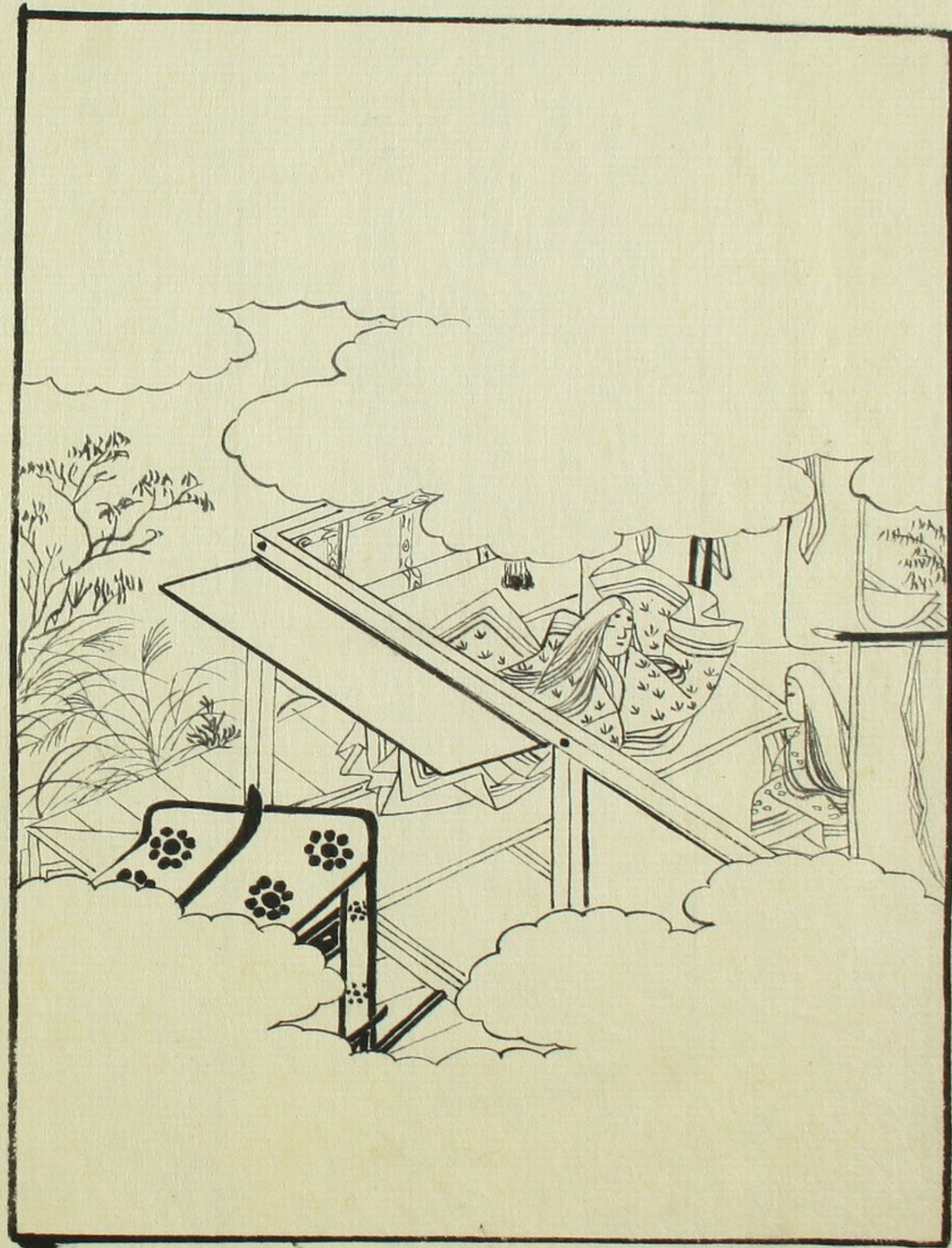
源  
の神もつちのつら

の神もつちのつら  
の神もつちのつら  
の神もつちのつら  
の神もつちのつら

遠生三



遠生二







うららめしめされよあはれ一あつとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと

あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと

終

十二繪合 詞を名とをを

は春は絵合とほごまはるるにむせんとはり  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと  
あはれとあはれとあはれとあはれとあはれと

繪合一上

徳川氏三月廿二日













<sup>尾末</sup>此うしよらありうのま船のそびさ  
うららさうふれ<sup>尾末</sup>い

<sup>尾末</sup>うららゆきふれさうしうさあ  
のりてりれん

<sup>尾末</sup>れうその<sup>尾末</sup>うららあめつのおし  
がくれがんであれうららちとて  
ひくは松風うららあめつのおし  
うららげそありうららあめつのおし

<sup>尾末</sup>本葉 <sup>尾末</sup>うららうららうららうらら  
うららあめつを吹かす

<sup>尾末</sup>うららうららうららうららうらら  
うららうららうららうららうらら



此の山に上りて見れば松の葉の  
 色は緑ならずも赤くも黄くも  
 白くもなりて秋の風を告ぐ  
 人の心ももろくもたゞしき  
 世の事ももろくもたゞしき  
 松の葉の色は人の心ももろくも  
 世の事ももろくもたゞしき  
 松の葉の色は人の心ももろくも  
 世の事ももろくもたゞしき  
 松の葉の色は人の心ももろくも  
 世の事ももろくもたゞしき



松風三上





十百落雲 奇と名とをりし  
源氏抄より世々の秋末のころ  
おご入月三寸拳よりれびく 落雲いれれちふ袖よりやまうへく

雲あつさく山の方ならしむれむれちやふいり  
 法一くすくすの路にゆれいりちちち  
あ 雲いれちちいりいりやゆれいりちちち

法一のち

あ 末とよきなれ紫のねりさるるさるる  
 本づらさくつとよきなれさるるさるる  
 むけいさるやめいりさるるさるる

源 あいさるるさるるさるるさるる  
 こまりのちちちちちちちちちちちちち

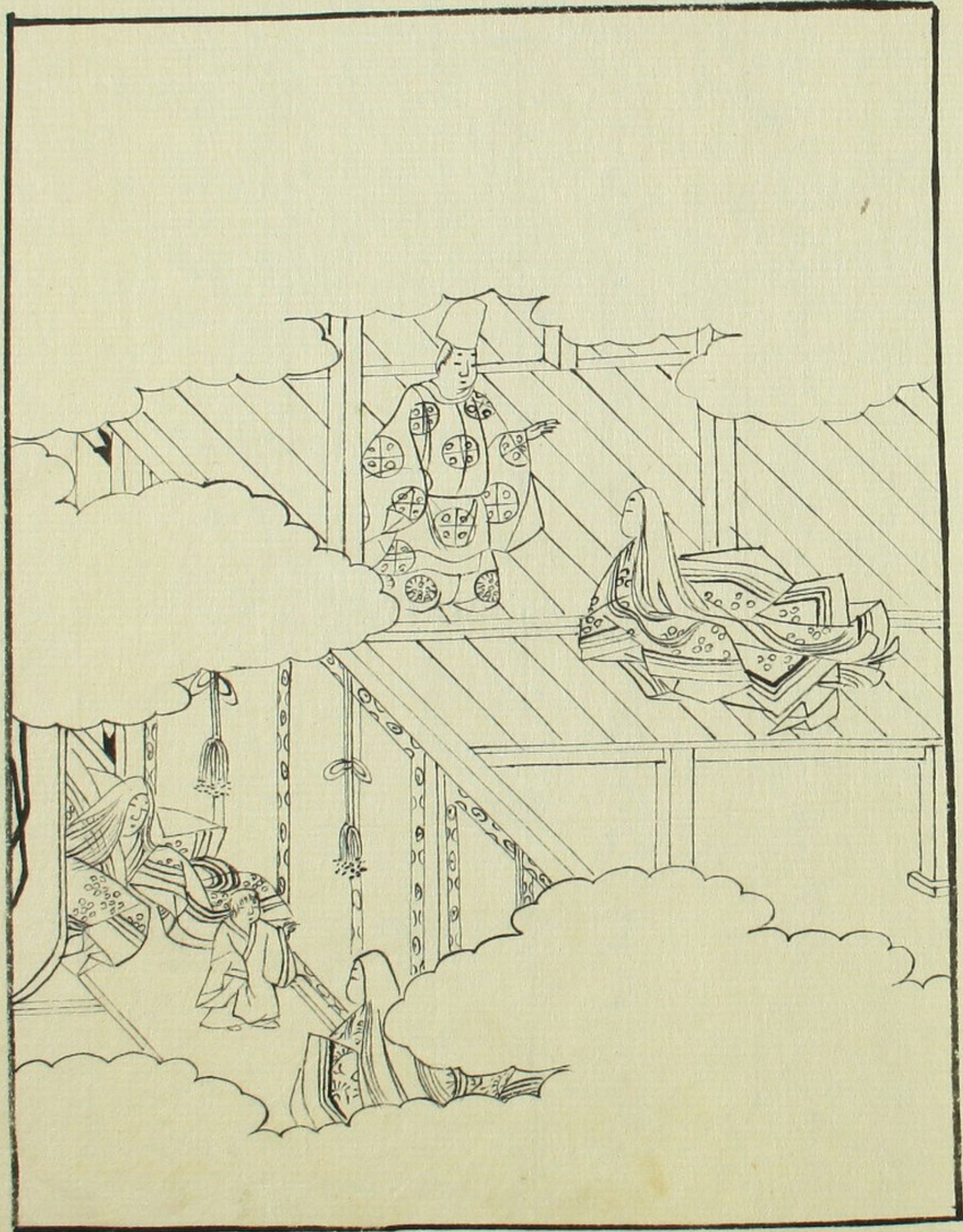
十百落雲 奇と名とをりし

入日三寸拳よりれびく落雲いれれちふ袖よりやまうへく

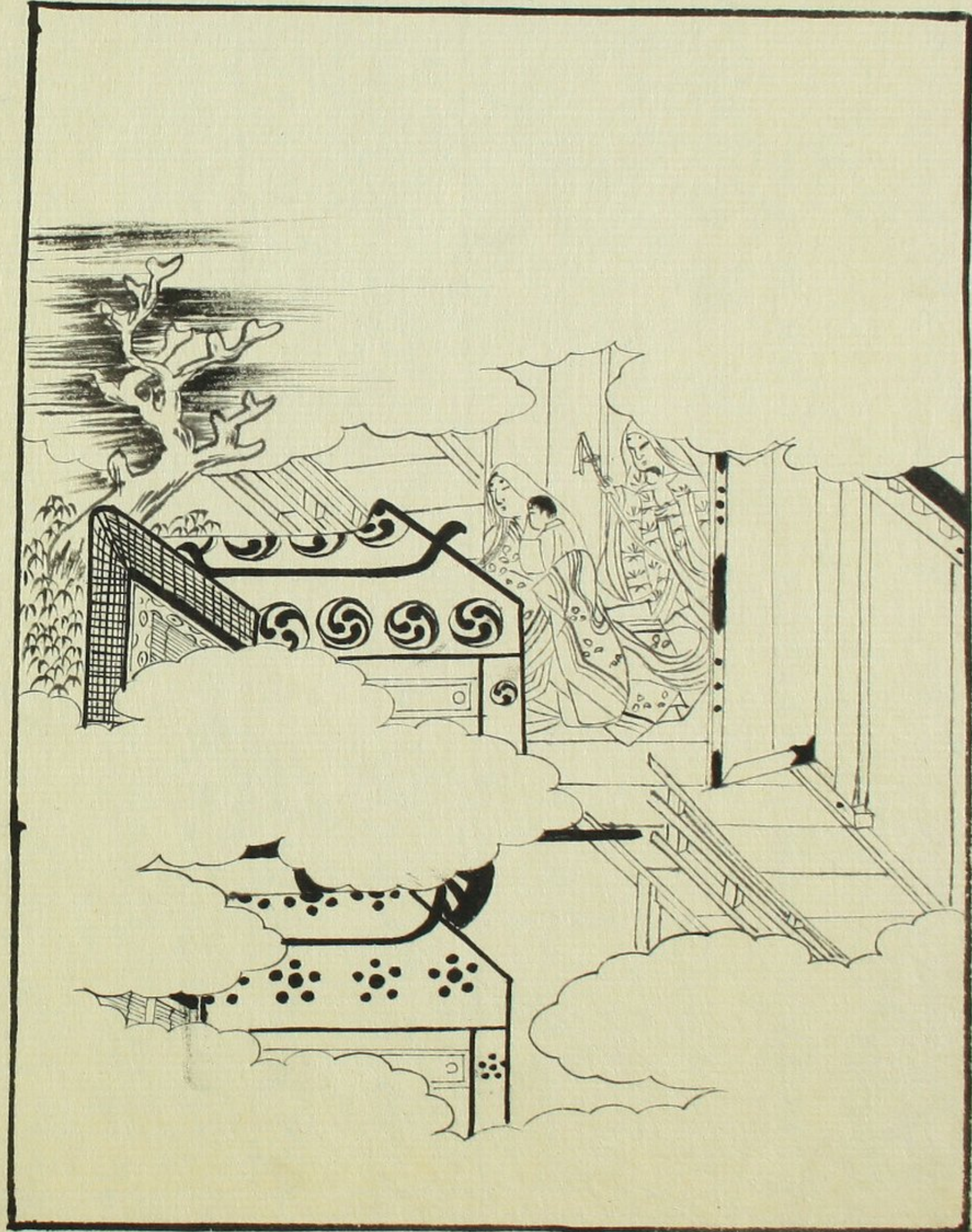
あ さるるさるるさるるさるるさるるさるる  
 めれとのあおとてあてやうちち人づりれちち  
尾 あまづらやうのもさるるさるるさるる  
 けいりりりりりりりりりりりりりりりり  
あ 舟いれちちいりいりいりいりいりいりいり  
 えんせとちちちちちちちちちちちちちちちち  
 白のやうなれちちちちちちちちちちちち

人いれちちちちちちちちちちちちちちちち  
 ひとちちちちちちちちちちちちちちちち  
 あいりりりりりりりりりりりりりりりり

薄雪二



薄雪一下



評 平 ... 人志れ寸 鞍がよき

家筋のゆき

ひらひら ... くら

かき ... のび

あ ... のび

つ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび

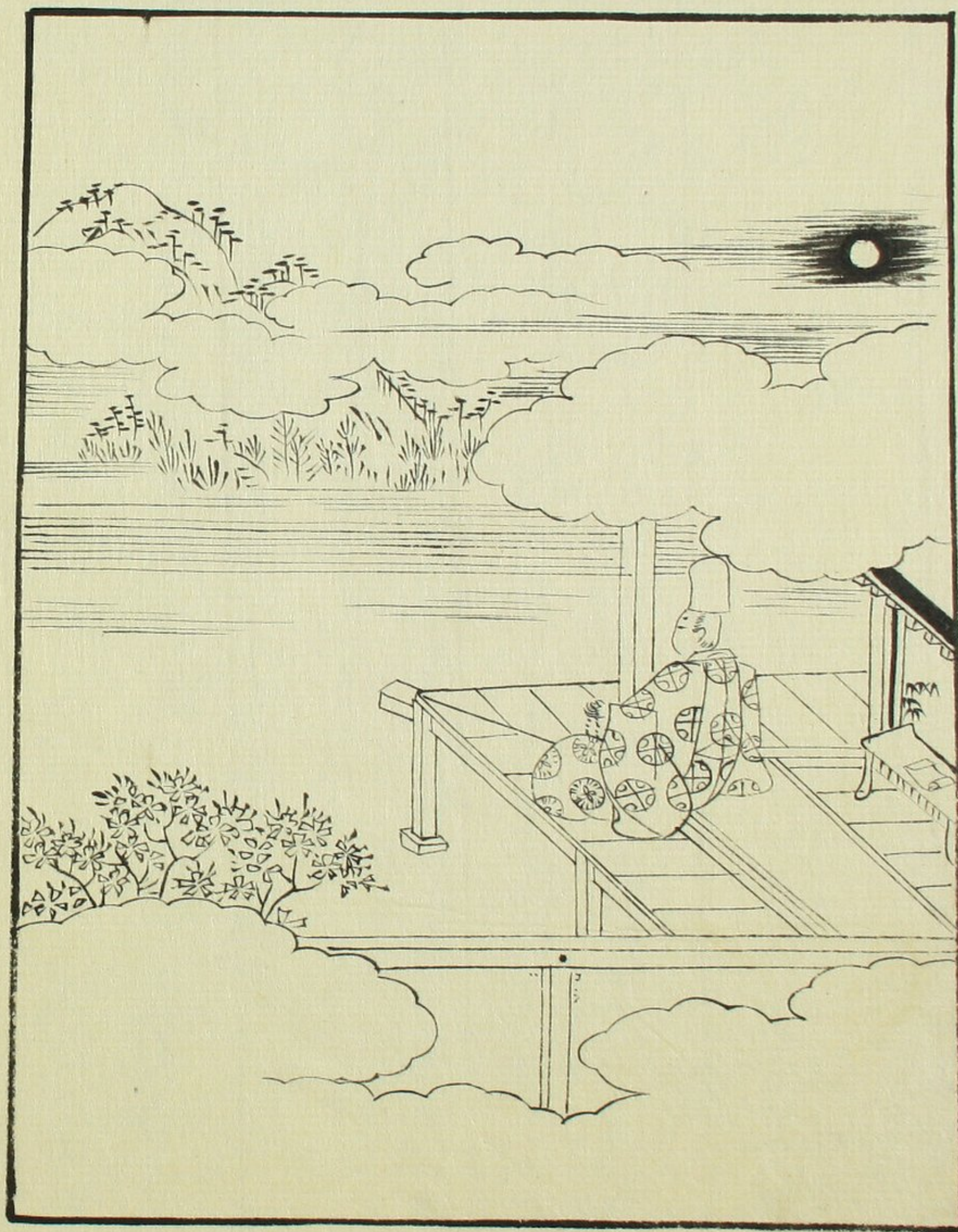
あ ... のび

あ ... のび

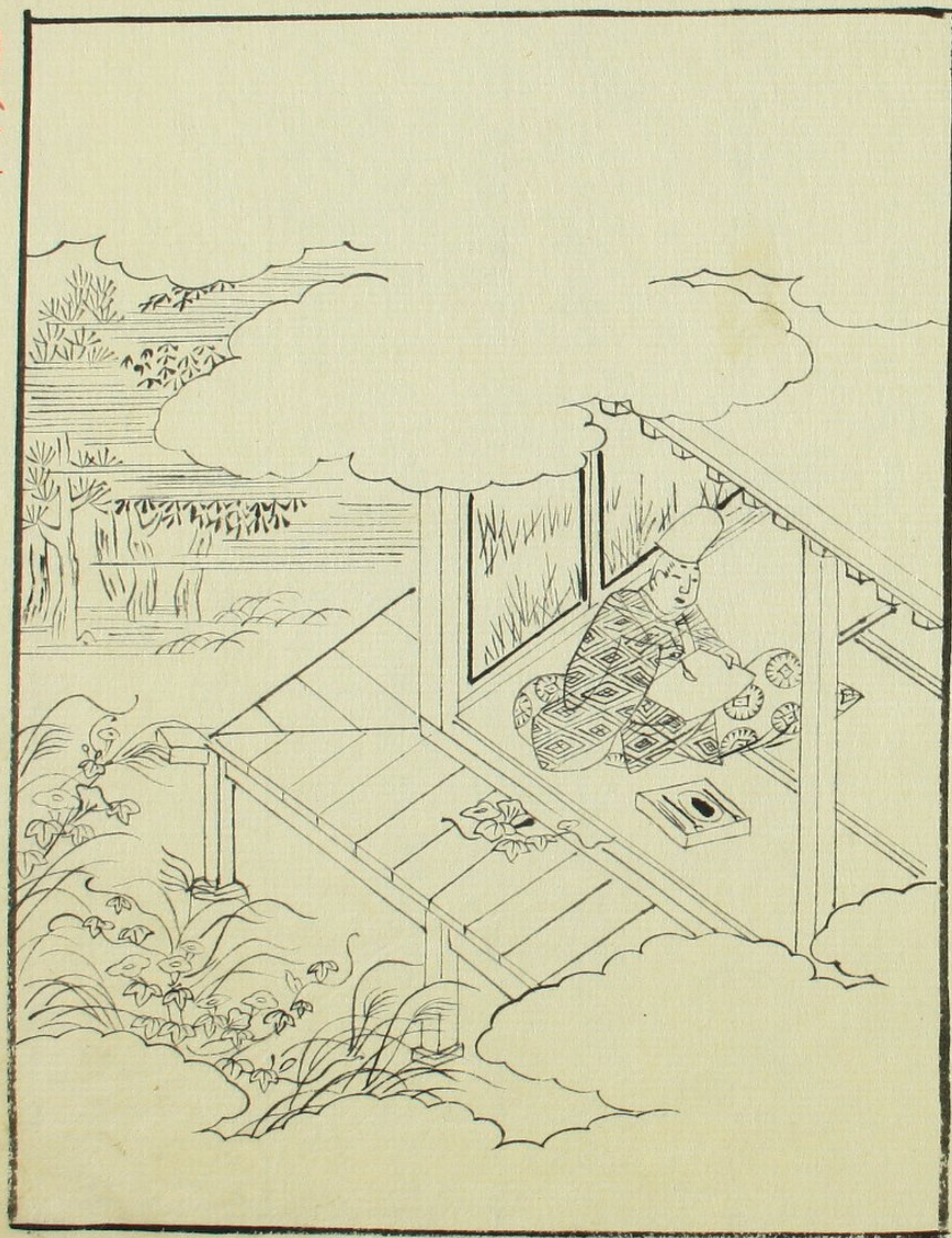
あ ... のび

あ ... のび

あ ... のび



十又槿 平とくはるを名せり  
本寄らかり此家りてしれわ槿のきりうりすらわあめ



人志が神のやうな物源——まよひつゝこれ

まよひつゝ今にちまよひの源いふあり

まよひつゝ世にまよひつゝまよひつゝ

まよひつゝ

まよひつゝ本まよひつゝ源まよひつゝ

まよひつゝまよひつゝまよひつゝ

まよひつゝまよひつゝまよひつゝ

秋源まよひつゝまよひつゝ

まよひつゝまよひつゝ

まよひつゝ源まよひつゝ源まよひつゝ

まよひつゝまよひつゝまよひつゝ

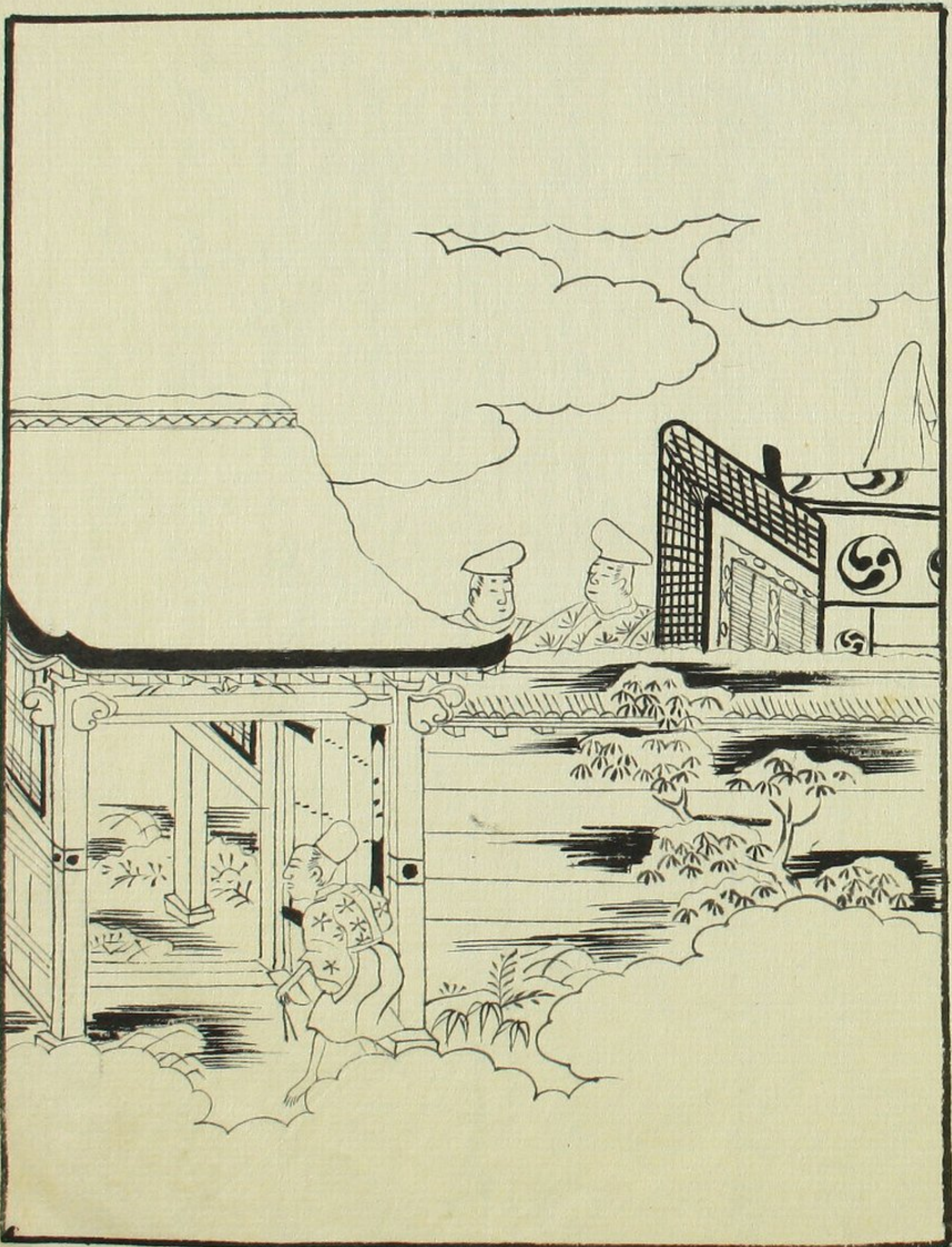
まよひつゝまよひつゝまよひつゝ

まよひつゝ

まよひつゝ源まよひつゝ源まよひつゝ

まよひつゝまよひつゝまよひつゝ

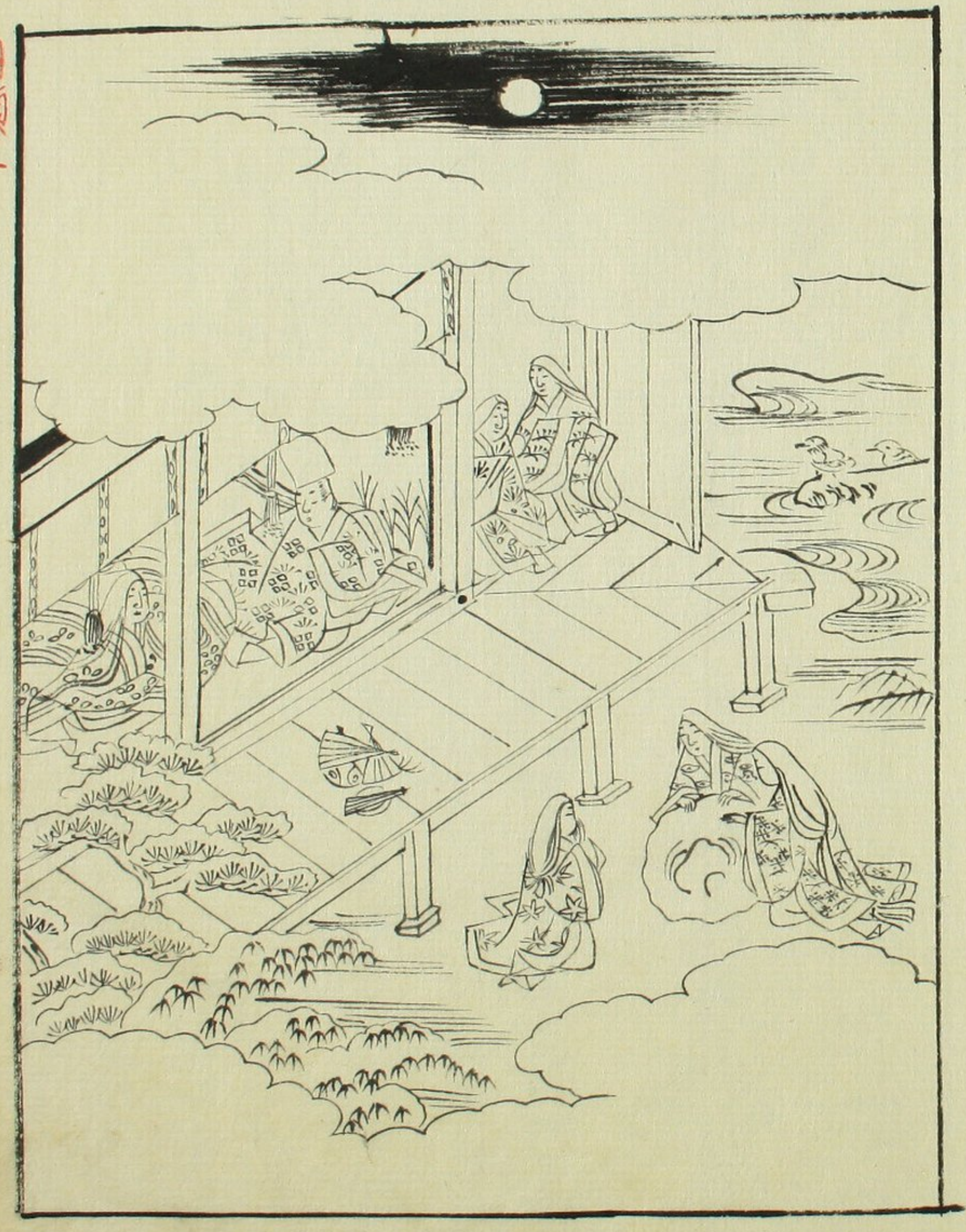
まよひつゝ



内侍 御座れども此珠もくしきもなれぬわがわのあ  
 ともひらきとさきもゆい<sup>ほ</sup>ももも  
 牙<sup>ほ</sup>すんで後も御まののせよとあも  
 あいありやと<sup>ほ</sup>れもくしきもわ今のど  
 ころもくしきもくしきも  
<sup>ほ</sup>これらも御まのくしきもくしきも  
 くるてつとれくしきもくしきも  
 けいもくしきもくしきも  
<sup>ほ</sup>あもくしきもくしきもくしきも  
 くとくしきもくしきも



何れけちるしよいしんせいのなをばん  
 てあま<sup>あま</sup>さむらうられごうのあま  
 みるさあむいーむらういふおほいさあ  
 めらうりーいさうあまれがうそのせあ志  
 ろさなよはましーあまーあま  
 ちいさあまらちいさあまらちいさ  
 ろしあまらちいさあまらちいさ  
 があまらちいさあまらちいさ  
 ちいさあまらちいさあまらちいさ  
 い東のあまらちいさあまらちいさ  
 ちいさ



月類三

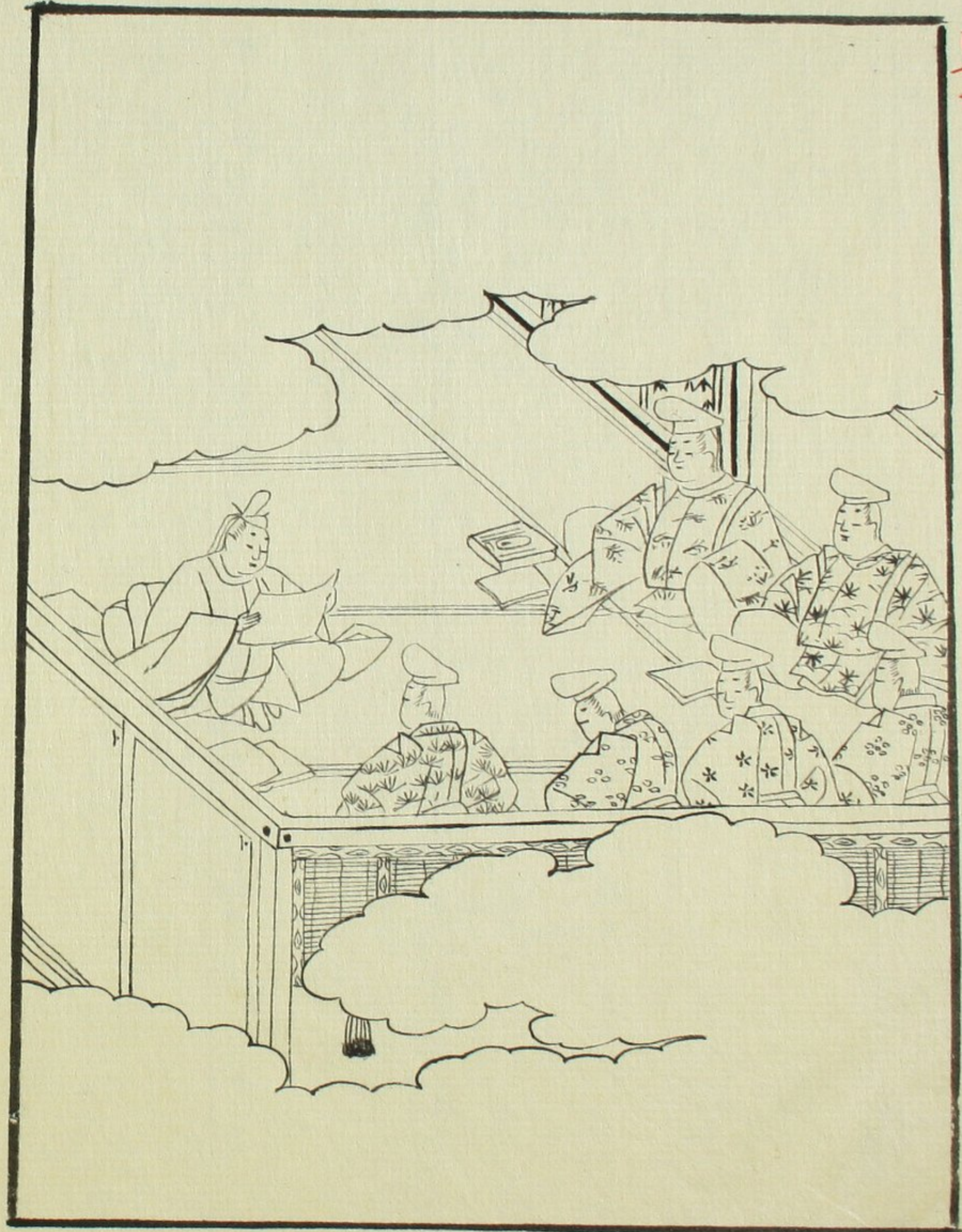




乙丑三上



乙丑一



紅の泪よさらば袖の色をわすれぬから  
ひらけぬとぞいふごとくしものぬくど

雲井  
しらけしよものぬきわたしのきくもへんこころ  
深げの津の衣ぞ

夕  
霧氷うつくしむすぶる明くれの光さへ  
さらぬれ

あめとりするさ  
あめはよもよもよとわたりぬれまぐもつらさへ

源四景  
夏よりあそびんずるよ昔ぬめとまよりぬり  
ととめれとぞいなまきしゆいしの日の言ひさ

つら守ぬれものうちちりぬれぬ

本分  
よもよもよと神びぬれぬしゆい袖あつさよ

ともかへぬれがと月文部のりもりとぞうてうら

あはしつらあいの衣をぬぎぬれぬいものあり

うあはぬももらうら

かてしつらあいのいそとあも海ゆれ日

げの衣の袖よとら

まきつらあいのとらさるの雲か

えんの程きしゆ院朱のともか又河さばりのと

こそんやとの程なるよつてその世源のよと衣よ

あはしつらけしるまひらうる程よと院朱よりぬ

つらあいのとらぬ

し女三下

源 鶯のさえずる春のむらさきと  
 糸のひげぞくそれる院朱のま  
朱 九重と巖のうらやまのまはりの川にけり  
 うらひらの声 柳のまやとまはりの今昔都の  
 まて今のまはりのまはりのまはりの  
寒 しのよのまはりのまはりのまはりの  
 鳥の音のまはりのまはりのまはりの  
冷 しのよのまはりのまはりのまはりの  
冷 しのよのまはりのまはりのまはりの  
 色やあまのまはりの





乙女曲



乙女曲

おのひんぐおのひんぐ—をすべ—げるる泉ありてる志  
 げよふのほほよふりうふい前裁くれ竹志風  
 す—るべく本づつら森のやうなる木とじ  
 ぶがくかも—う—山里めさて卯花ヶさひと  
 さよ—りう—びり—おぼゆる夢うらまぢで  
 —とさびらう—はらぬさうのられりういへ  
 とうて春物の木なぞの半ようちまぢうり

乙女五







秋好 ふうふう雲も山そのまわりがどれ紅葉と風乃  
しよよもささやみ<sup>世</sup>くもくもくひらひらもてもあす  
も海もさあういなりあはれこのふゆもなつて  
ふゆもささやみのさびしうと女葉のささやみ  
月<sup>世</sup>は散紅葉いろりいろのさと岩ねの松よ  
うけくそそあけ<sup>世</sup>岩のの松よい海もささやみいろも  
つらうもささやもあうなりくさりあはれもあうり  
ゆくくささやもささや<sup>秋好</sup>とありくささやもささや  
めであうり 終

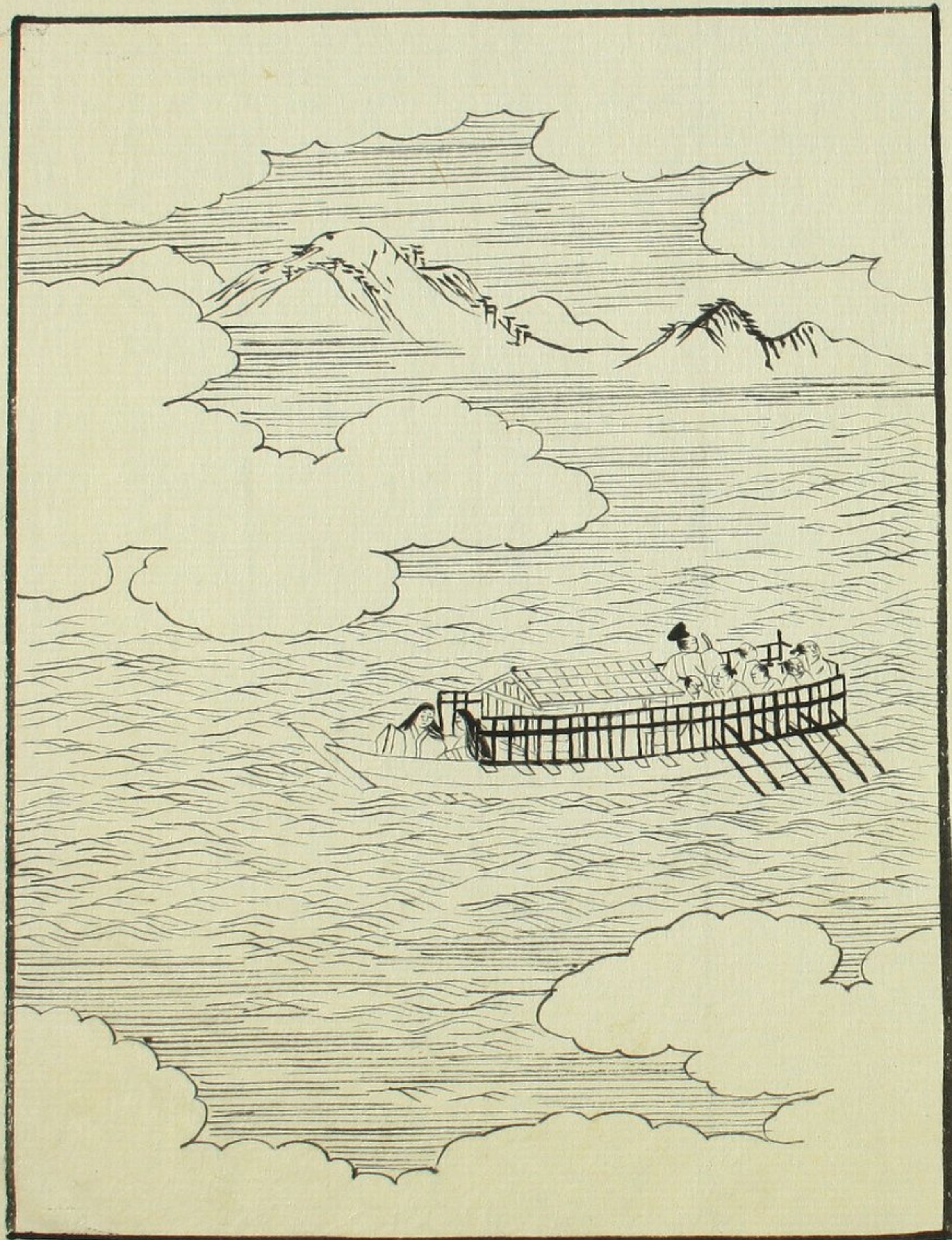
十七玉鬘 平と名らとらし

本并 恋わらる身はそれたれどあうりいろもささやと名らとらし

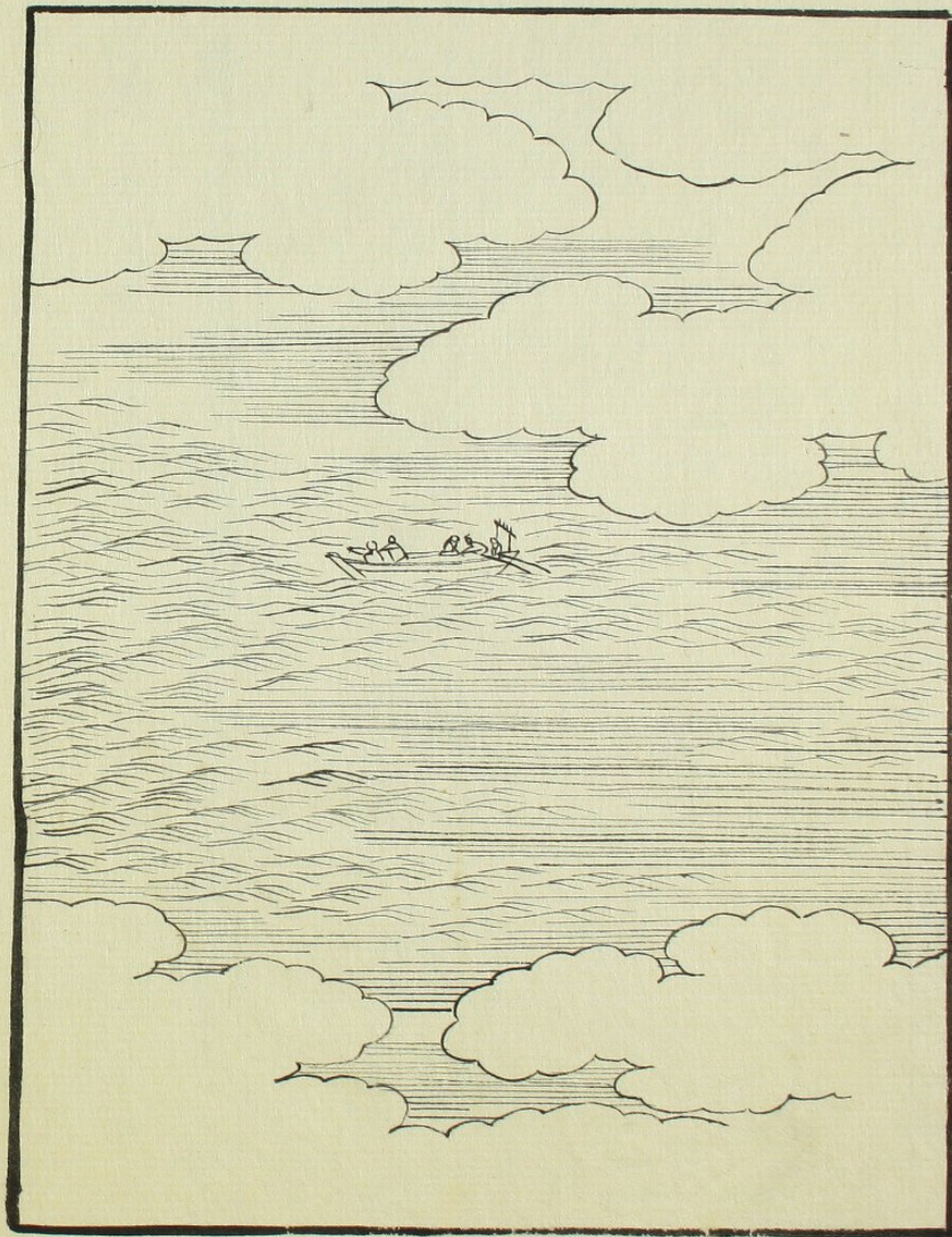
源氏世々々の三月より十二月まで五

秋好 舟人も作とらふとらあ海崎の浦うら<sup>あかひ</sup>りげよ  
しよのささや  
秋好 葉<sup>世</sup>いろもあはれいろもあはれいろもあはれ  
あはれいろもあはれいろもあはれいろもあはれ  
秋好 葉<sup>世</sup>いろもあはれいろもあはれいろもあはれ  
あはれいろもあはれいろもあはれいろもあはれ  
あはれいろもあはれいろもあはれいろもあはれ

玉笏二上



玉笏一



年々とてそのことびらば後の神を

しつたえ

昔ア三 浮嶋を漕いんがもられたりも此方をいづくもあつと

ちつとすもあつた

此の記もさぬ波後はあつたて風よはする

あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

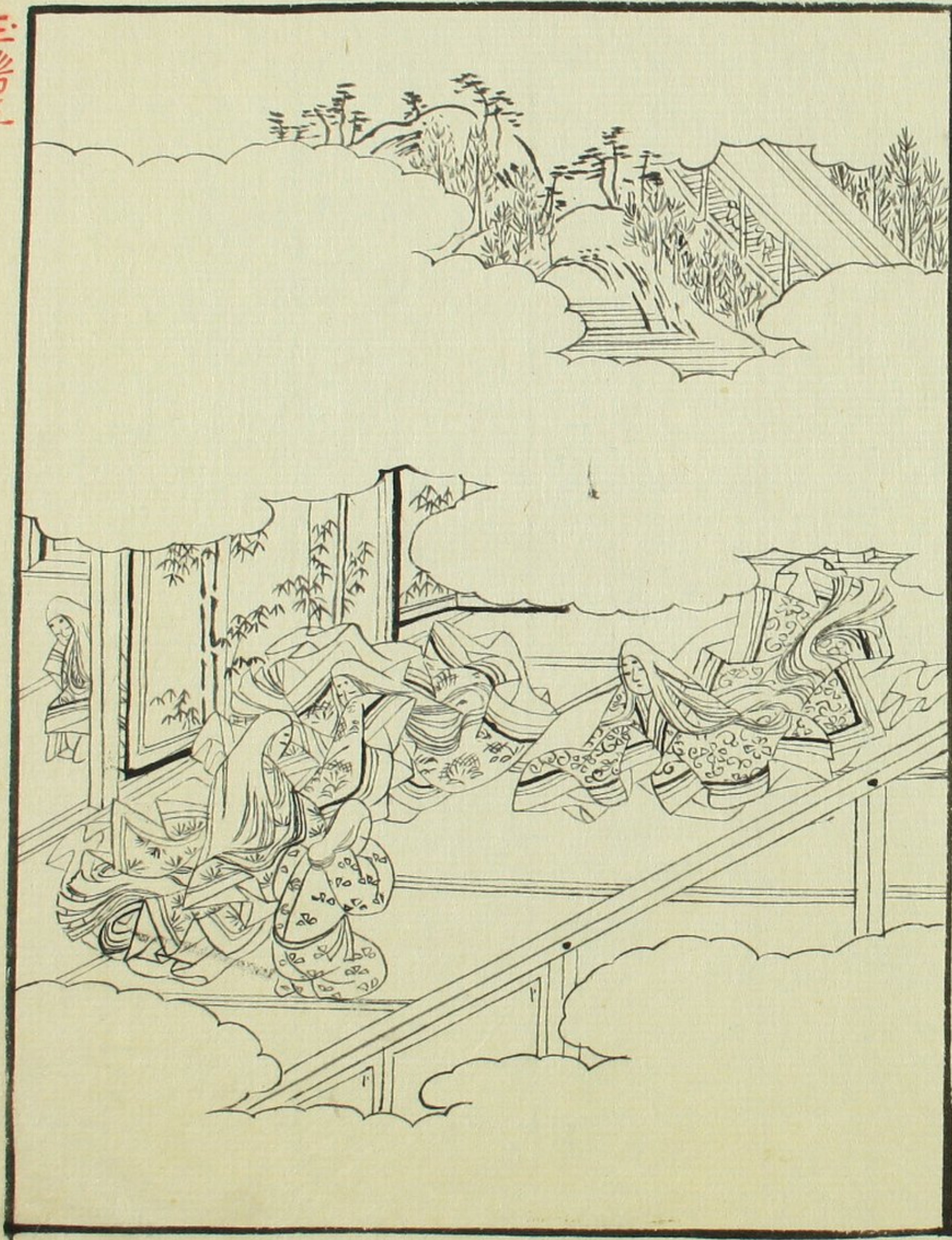
あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

王勢二下

海賊のあつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
うらあつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
皮あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

接連國あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
玉あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
備前あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
丹あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて  
あつたてあつたてあつたてあつたてあつたてあつたて

せほらまきん  
 めともまねとやちんげいよぞこれうちよきげら  
 いごららぬらんちんぐーくらのいかに  
 ちんぐーくらのいかにちんぐーくらのいかに



玉勢三

<sup>原</sup> From the 6th 6 was in the 6th 6th 6th 6th 6th  
was the 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th

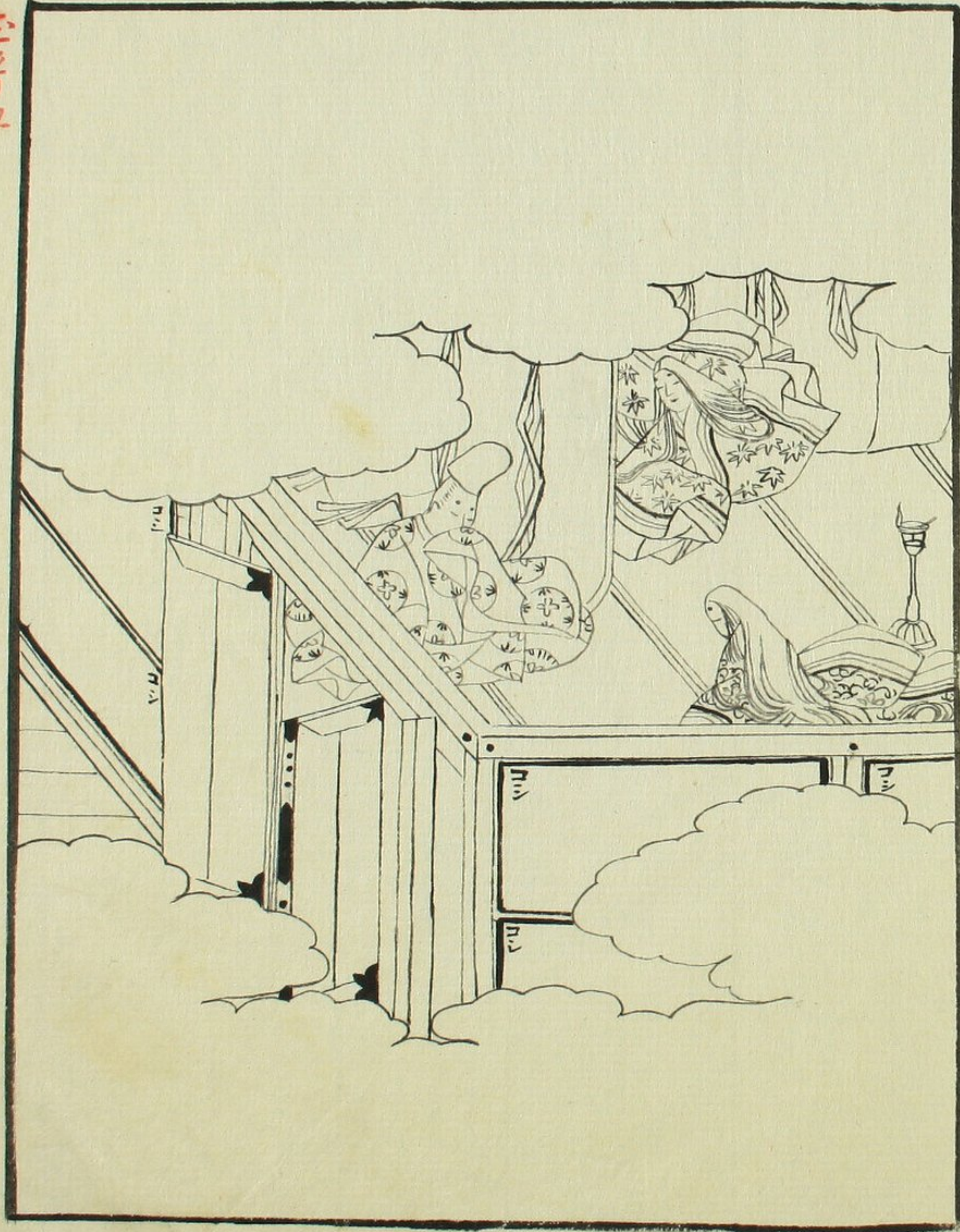
<sup>原</sup> The 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th

<sup>原</sup> The 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th

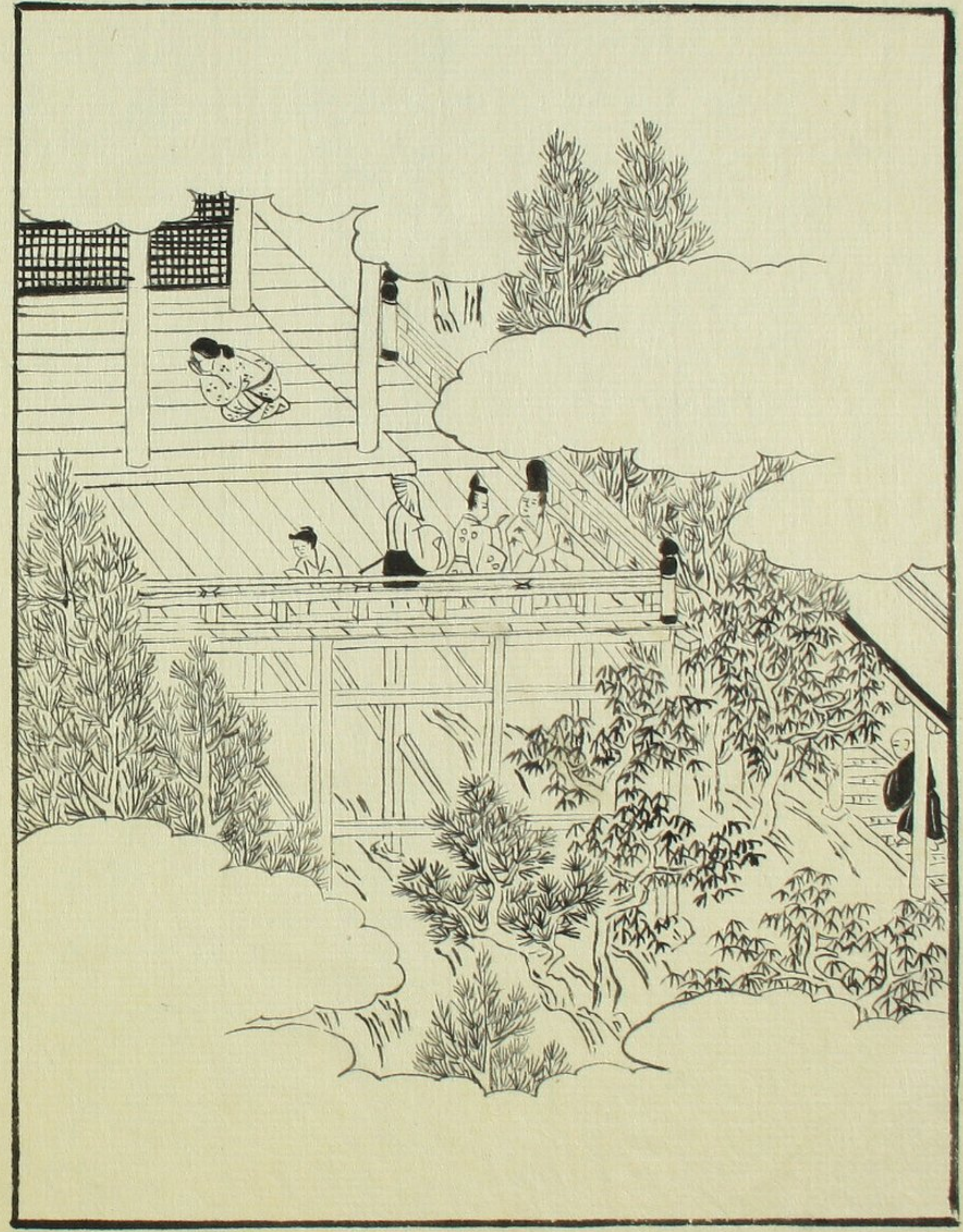
<sup>原</sup> The 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th

<sup>原</sup> The 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th  
6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th 6th

玉勢五



玉勢及曲



本源 恋つるものそれなれど玉づくらん  
すぢとるらん 終

并一  
本

初音源のるる地平と河と右と

月と松源ひれてか人よと鷹のこころ

年源くらくわいれそこのころ名残なく

くもあつらひはよに教るぬ植女の申さ

ぬきまれまひやるまじそあいらし

くさつら源は木のあもかゆりなをのびく人の

らるものびくまじあうまてりさたま

とまけるあよしくなよりまじあもあひくえん

まのくもあひくへのあひなもあひくせんま

の紫くるまじくるんまのね源のあまんとりか

て梅の音と源の西白く源あひくしりける

私のくもあひくあまんとりかあまんとりか

ほろしあひく





ふとわのきもさうりあうんり

本年<sup>しんねん</sup>年月と松よひつねてある人よるまの物

とるまの物よもさうりあうんりのまをけ<sup>ま</sup>

まとお<sup>ま</sup>さうりあうんりのまをけ<sup>ま</sup>

ひ<sup>ひ</sup>あうんりのまをけ<sup>ま</sup>

さうりあうんりのまをけ<sup>ま</sup>

あうんりのまをけ<sup>ま</sup>

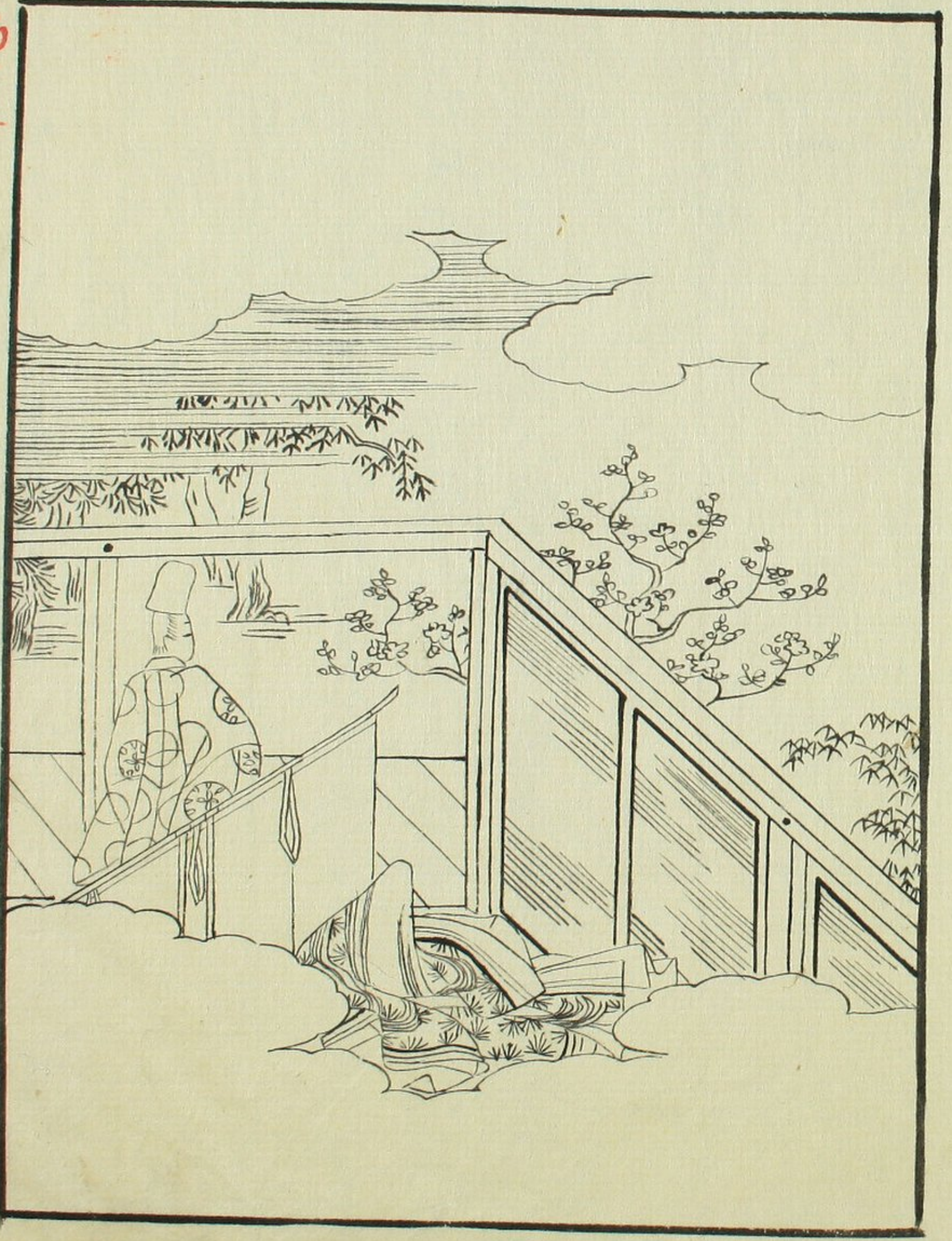
まをけ<sup>ま</sup>

あうんりのまをけ<sup>ま</sup>

まをけ<sup>ま</sup>

あうんりのまをけ<sup>ま</sup>

まをけ<sup>ま</sup>



初月二

あつすはとくさき  
あつすはとくさき

つわりの境のさうじつに  
あつすはとくさき

あつすはとくさき  
あつすはとくさき

終

并二胡蝶 縦のうらびせ 奇と何と若とをうら

本并 字そののこまゆと人もあつすはとくさき

源氏世六文の三四月

あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき  
あつすはとくさき

胡蝶 上



胡蝶  
上



胡蝶  
下



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes a small vertical note on the left side of the main text block.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. It includes several small vertical annotations interspersed within the main lines of text.

Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

Handwritten text in a cursive script, similar to the right page. It contains several lines of text with some small annotations in red ink. The text is arranged in approximately 12 horizontal lines across the page.

附  
二  
中

1234567891011121314151617181920212223242526272829303132333435363738394041424344454647484950515253545556575859606162636465666768697071727374757677787980818283848586878889909192939495969798991001011021031041051061071081091101111121131141151161171181191201211221231241251261271281291301311321331341351361371381391401411421431441451461471481491501511521531541551561571581591601611621631641651661671681691701711721731741751761771781791801811821831841851861871881891901911921931941951961971981992002012022032042052062072082092102112122132142152162172182192202212222232242252262272282292302312322332342352362372382392402412422432442452462472482492502512522532542552562572582592602612622632642652662672682692702712722732742752762772782792802812822832842852862872882892902912922932942952962972982993003013023033043053063073083093103113123133143153163173183193203213223233243253263273283293303313323333343353363373383393403413423433443453463473483493503513523533543553563573583593603613623633643653663673683693703713723733743753763773783793803813823833843853863873883893903913923933943953963973983994004014024034044054064074084094104114124134144154164174184194204214224234244254264274284294304314324334344354364374384394404414424434444454464474484494504514524534544554564574584594604614624634644654664674684694704714724734744754764774784794804814824834844854864874884894904914924934944954964974984995005015025035045055065075085095105115125135145155165175185195205215225235245255265275285295305315325335345355365375385395405415425435445455465475485495505515525535545555565575585595605615625635645655665675685695705715725735745755765775785795805815825835845855865875885895905915925935945955965975985996006016026036046056066076086096106116126136146156166176186196206216226236246256266276286296306316326336346356366376386396406416426436446456466476486496506516526536546556566576586596606616626636646656666676686696706716726736746756766776786796806816826836846856866876886896906916926936946956966976986997007017027037047057067077087097107117127137147157167177187197207217227237247257267277287297307317327337347357367377387397407417427437447457467477487497507517527537547557567577587597607617627637647657667677687697707717727737747757767777787797807817827837847857867877887897907917927937947957967977987998008018028038048058068078088098108118128138148158168178188198208218228238248258268278288298308318328338348358368378388398408418428438448458468478488498508518528538548558568578588598608618628638648658668678688698708718728738748758768778788798808818828838848858868878888898908918928938948958968978988999009019029039049059069079089099109119129139149159169179189199209219229239249259269279289299309319329339349359369379389399409419429439449459469479489499509519529539549559569579589599609619629639649659669679689699709719729739749759769779789799809819829839849859869879889899909919929939949959969979989991000

1234567891011121314151617181920212223242526272829303132333435363738394041424344454647484950515253545556575859606162636465666768697071727374757677787980818283848586878889909192939495969798991001011021031041051061071081091101111121131141151161171181191201211221231241251261271281291301311321331341351361371381391401411421431441451461471481491501511521531541551561571581591601611621631641651661671681691701711721731741751761771781791801811821831841851861871881891901911921931941951961971981992002012022032042052062072082092102112122132142152162172182192202212222232242252262272282292302312322332342352362372382392402412422432442452462472482492502512522532542552562572582592602612622632642652662672682692702712722732742752762772782792802812822832842852862872882892902912922932942952962972982993003013023033043053063073083093103113123133143153163173183193203213223233243253263273283293303313323333343353363373383393403413423433443453463473483493503513523533543553563573583593603613623633643653663673683693703713723733743753763773783793803813823833843853863873883893903913923933943953963973983994004014024034044054064074084094104114124134144154164174184194204214224234244254264274284294304314324334344354364374384394404414424434444454464474484494504514524534544554564574584594604614624634644654664674684694704714724734744754764774784794804814824834844854864874884894904914924934944954964974984995005015025035045055065075085095105115125135145155165175185195205215225235245255265275285295305315325335345355365375385395405415425435445455465475485495505515525535545555565575585595605615625635645655665675685695705715725735745755765775785795805815825835845855865875885895905915925935945955965975985996006016026036046056066076086096106116126136146156166176186196206216226236246256266276286296306316326336346356366376386396406416426436446456466476486496506516526536546556566576586596606616626636646656666676686696706716726736746756766776786796806816826836846856866876886896906916926936946956966976986997007017027037047057067077087097107117127137147157167177187197207217227237247257267277287297307317327337347357367377387397407417427437447457467477487497507517527537547557567577587597607617627637647657667677687697707717727737747757767777787797807817827837847857867877887897907917927937947957967977987998008018028038048058068078088098108118128138148158168178188198208218228238248258268278288298308318328338348358368378388398408418428438448458468478488498508518528538548558568578588598608618628638648658668678688698708718728738748758768778788798808818828838848858868878888898908918928938948958968978988999009019029039049059069079089099109119129139149159169179189199209219229239249259269279289299309319329339349359369379389399409419429439449459469479489499509519529539549559569579589599609619629639649659669679689699709719729739749759769779789799809819829839849859869879889899909919929939949959969979989991000

胡蝶二 中下

二二 胡蝶  
 二下

...



此の如くその後の申の事なり

本哥

此

此

此

ひらりひらりかゝるに

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

申すの事

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて

あつちをへりて



摺子

水一色一

あつちん

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~







基の地をかりまじりくちりくちりもせよとて  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり

まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり  
まじりくちりのちりまじりくちりまじりくちり





まじりぬひよそれ當ノオキそちのまじりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
れどげほひよちりやあぢまのまぢりぬひよひよ—  
のひけらとのまじりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
あぢまぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ひけらぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
とちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
あぢまぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ひけらぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
とちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—

そぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
あぢまぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ひけらぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
とちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
あぢまぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ひけらぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
とちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
あぢまぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
ひけらぢりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—  
とちりぬひよひよちりぬひよひよ—のまじりぬひよひよ—

堂

六





あつくりしとれはしるのささゆらぬれんやと  
てふりやうめくろくきりりあさびちあむす  
とけいしんがよるささいさくもくれ  
るやぶくすさしりてくさくせんあび  
ひもあさあしひさしあはれこのた  
せよあせんものけいしんあつくりし  
めあぶらんしとけいしんあつくりし  
あつくりしとれはしるのささゆらぬれんやと  
ちぶのささくさくさくさくさくさく  
えんあつくりしとれはしるのささゆらぬれんやと  
とけいしんあつくりしとれはしるのささゆらぬれんやと



葉\*常文一











かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

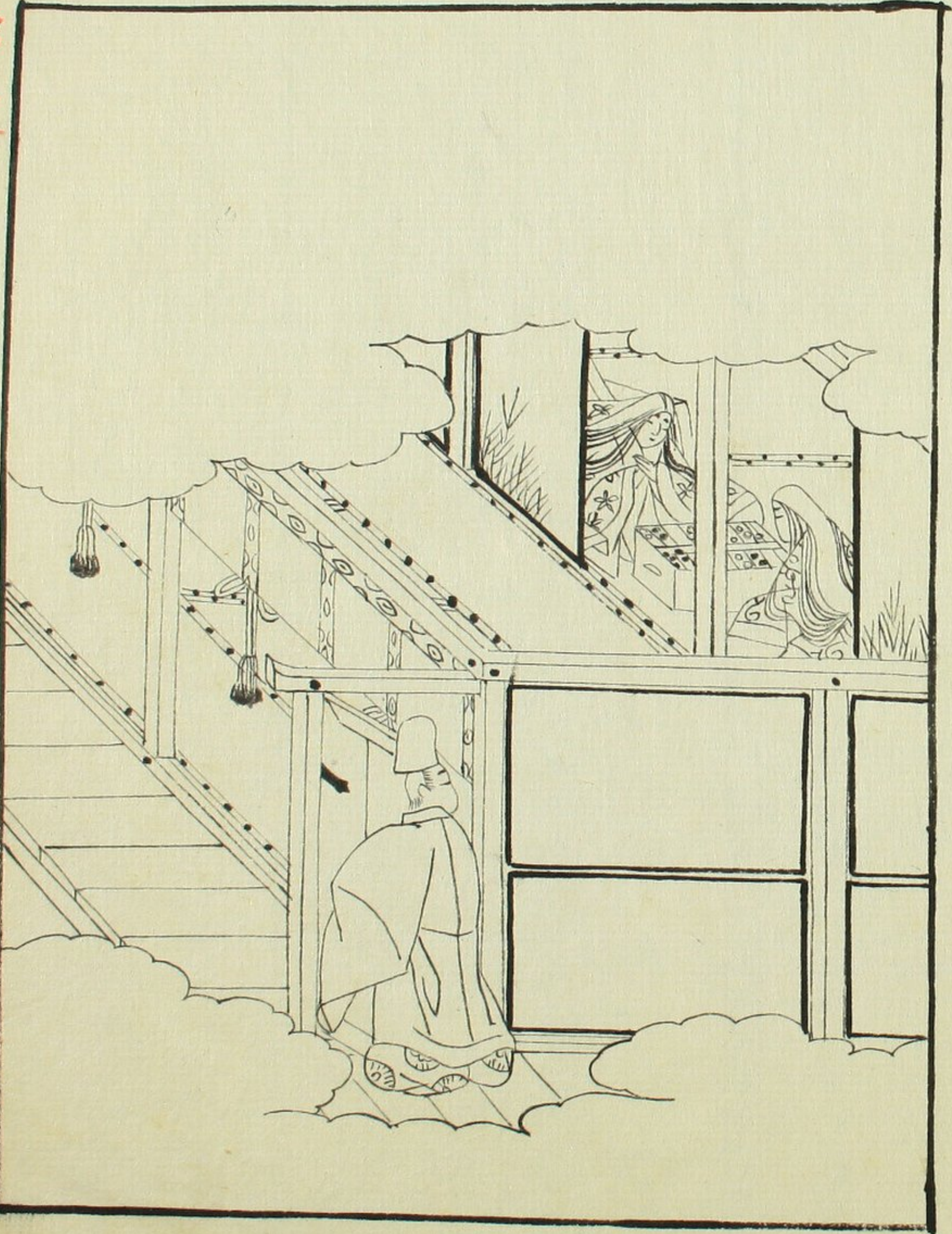
かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

かゝる事なれば、  
かゝる事なれば、

帯友



くらりたるはむらさきのひきよけたるはせきとる  
はり路中<sup>はりばち</sup>のまじりてくまをむねのほ  
ちひちひとるにさかす<sup>ち</sup>はむらさきのくまの  
くま<sup>ひ</sup>のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ  
のまじりてくまをむねのほ



常友三

九

大分県立第一中学校  
 第一回学芸会  
 音楽部  
 第一曲  
 第二曲  
 第三曲  
 第四曲  
 第五曲  
 第六曲  
 第七曲  
 第八曲  
 第九曲  
 第十曲

第十一曲  
 第十二曲  
 第十三曲  
 第十四曲  
 第十五曲  
 第十六曲  
 第十七曲  
 第十八曲  
 第十九曲  
 第二十曲  
 第二十一曲  
 第二十二曲  
 第二十三曲  
 第二十四曲  
 第二十五曲  
 第二十六曲  
 第二十七曲  
 第二十八曲  
 第二十九曲  
 第三十曲

第五

+







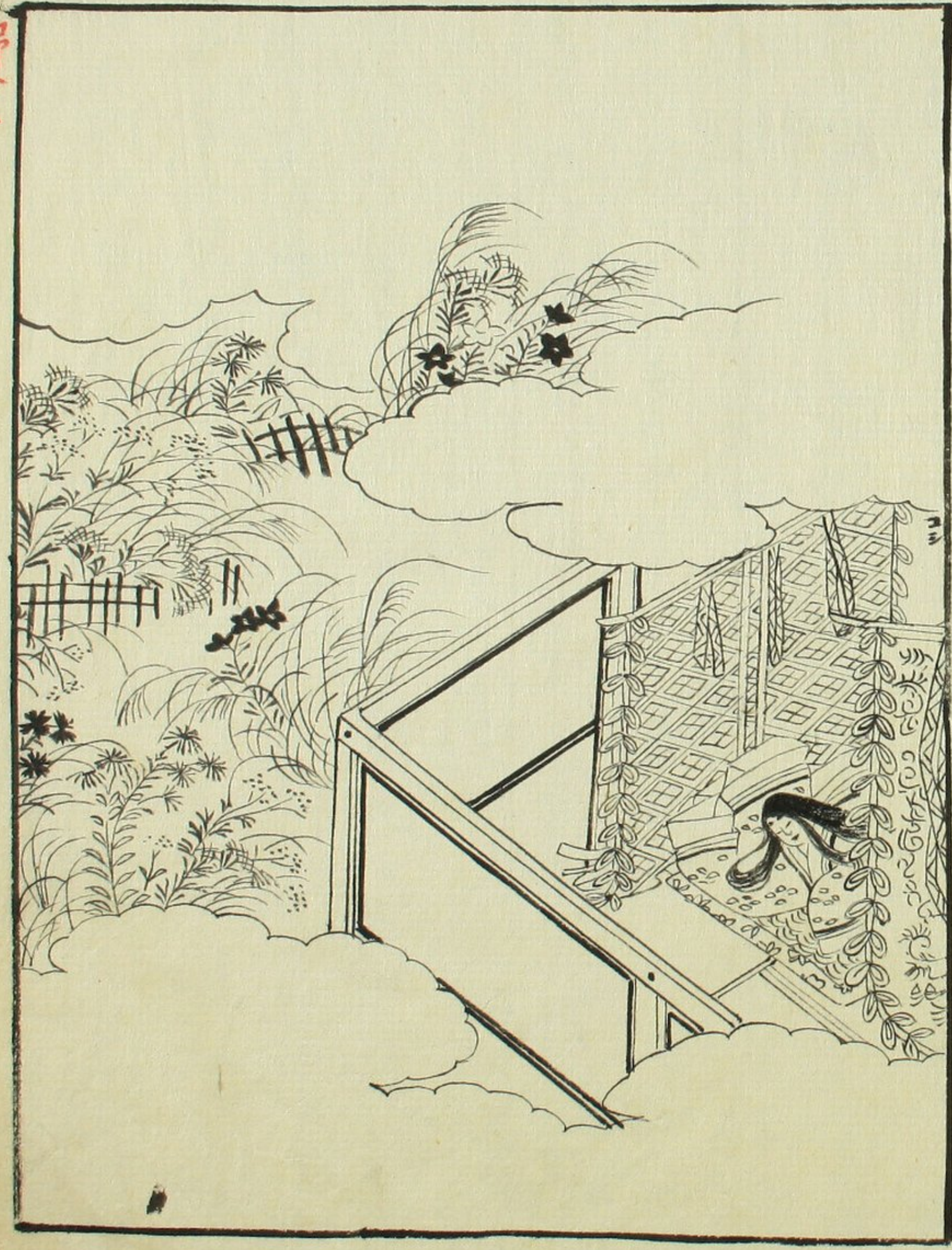








芳より梅あけはさくらより人にくちかきてはるけり  
 ころ巻のあま人のちれぞのちよきかきくし  
 ひらく人しうけくよきせ世のあま世よし  
 くれ結なせくくくしよきかきくし  
 あそびらぐもあまきくくしれど八月秋好の前あき坊の  
 ね忘さ月ちれにせよきかきくし  
 この巻のちよきかきくしよきかきくし  
 ねのころよきかきくしよきかきくし  
 せよきかきくしよきかきくしよきかきくし  
 ちよきかきくしよきかきくしよきかきくし  
 草あけの巻のあまのちよきかきくしよきかきくし



野分一













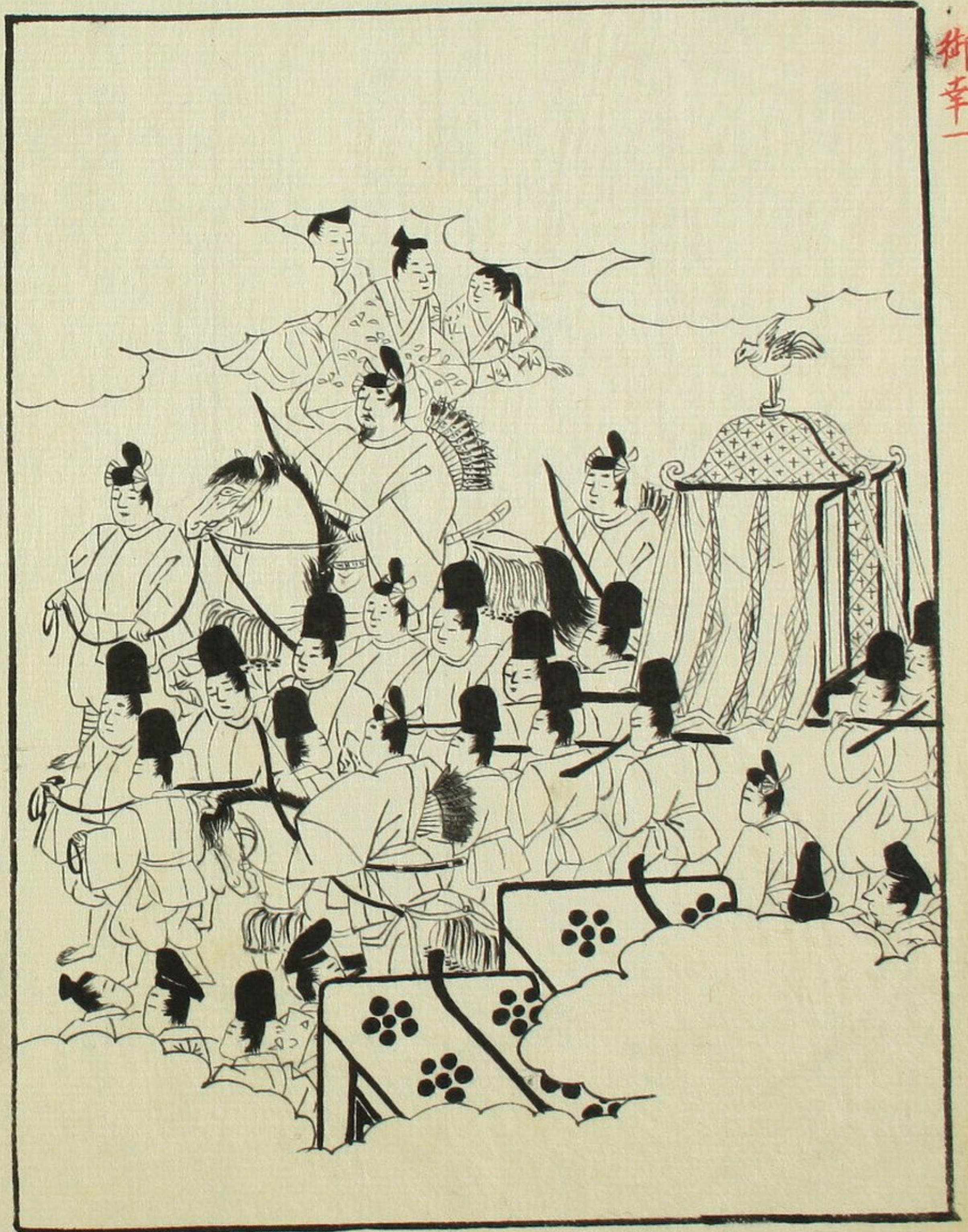








御幸一



御幸二



四



美さをもつてあつちの女りり為人のたづねの射とれ使  
まへにまへに一技をひかすもろもろの物さびこもろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ

ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ

**わか** ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ  
ちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろちろ

御幸

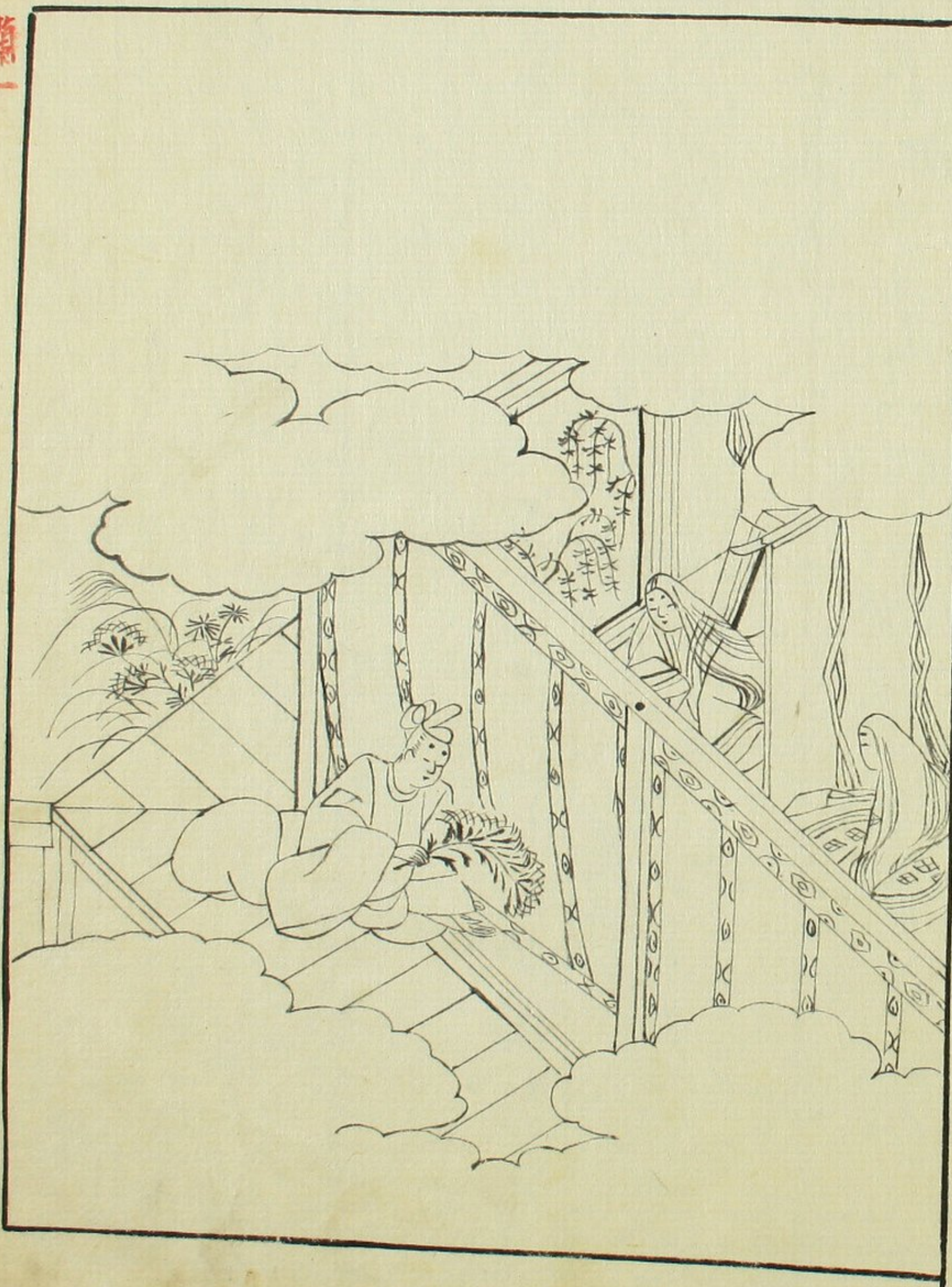


くは我がうちゆりてをききまきまきまきんちど  
あはしきりてこの世うゆひのくみおのり  
らんれきうとこすのめいれいぢぢぢぢぢぢぢ  
つるらうちぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
くはあまききびんちぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
かいつまよひもてゆけぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
らるれぬぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ

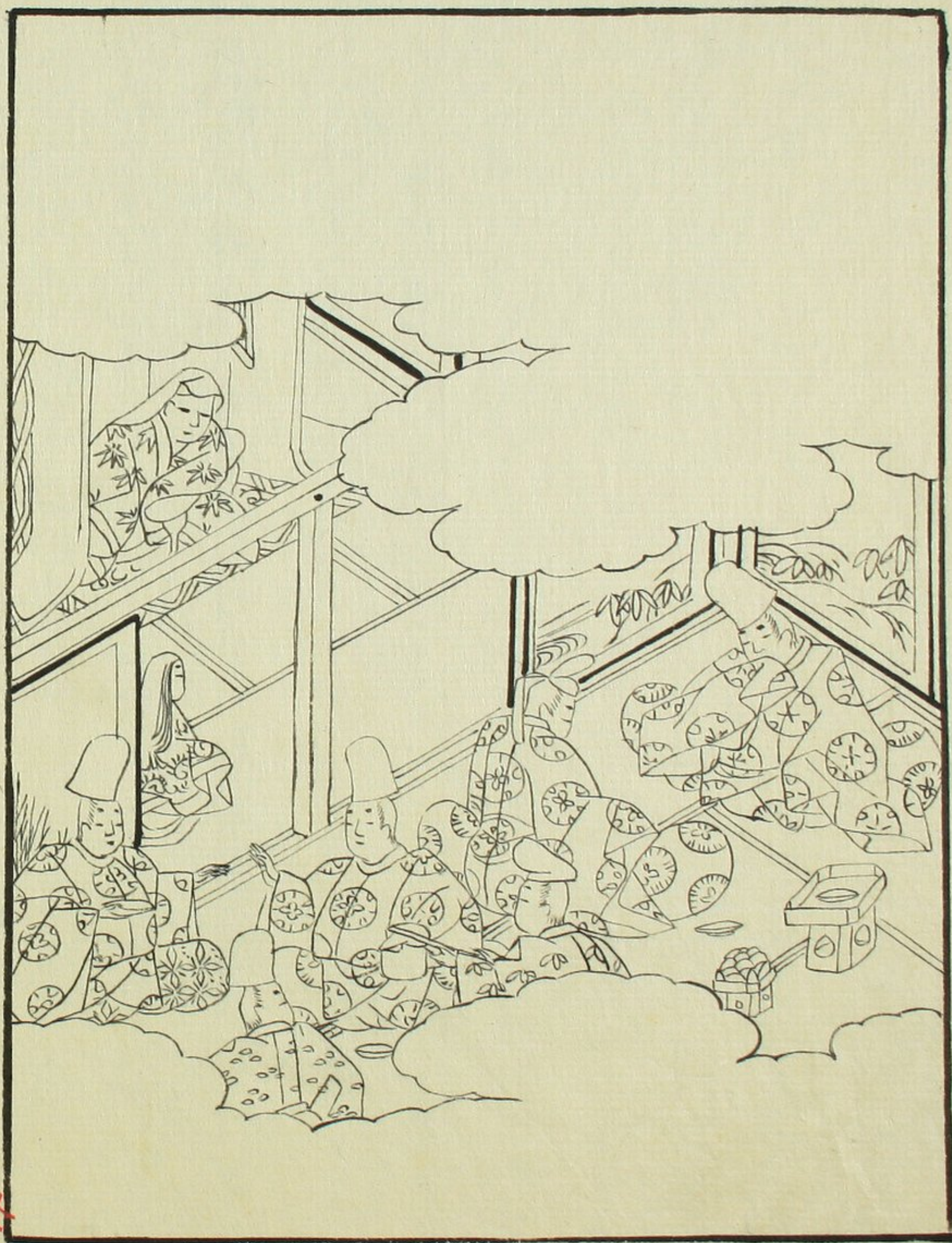
我<sup>ま</sup>力<sup>ちから</sup>すこしうれれぬ衣<sup>い</sup>着<sup>き</sup>がらまは  
ちれずくちんぢ

うらやまうらやまうらやまうらやまうらやま  
うらやま

うらやまうらやまうらやまうらやまうらやま  
けらあまのうらやまうらやまうらやまうらやま  
これぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
つぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ  
うらやまうらやまうらやまうらやまうらやま  
うらやまうらやまうらやまうらやまうらやま



并八蘭 綴のちひ也 舟と舟を名とせり  
 水か おろぎの家よや つく 蘭あまれらけよ ねとり  
 源氏や七の八月のちひ





蘭花  
花の香は遠くまで届く

蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く

蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く

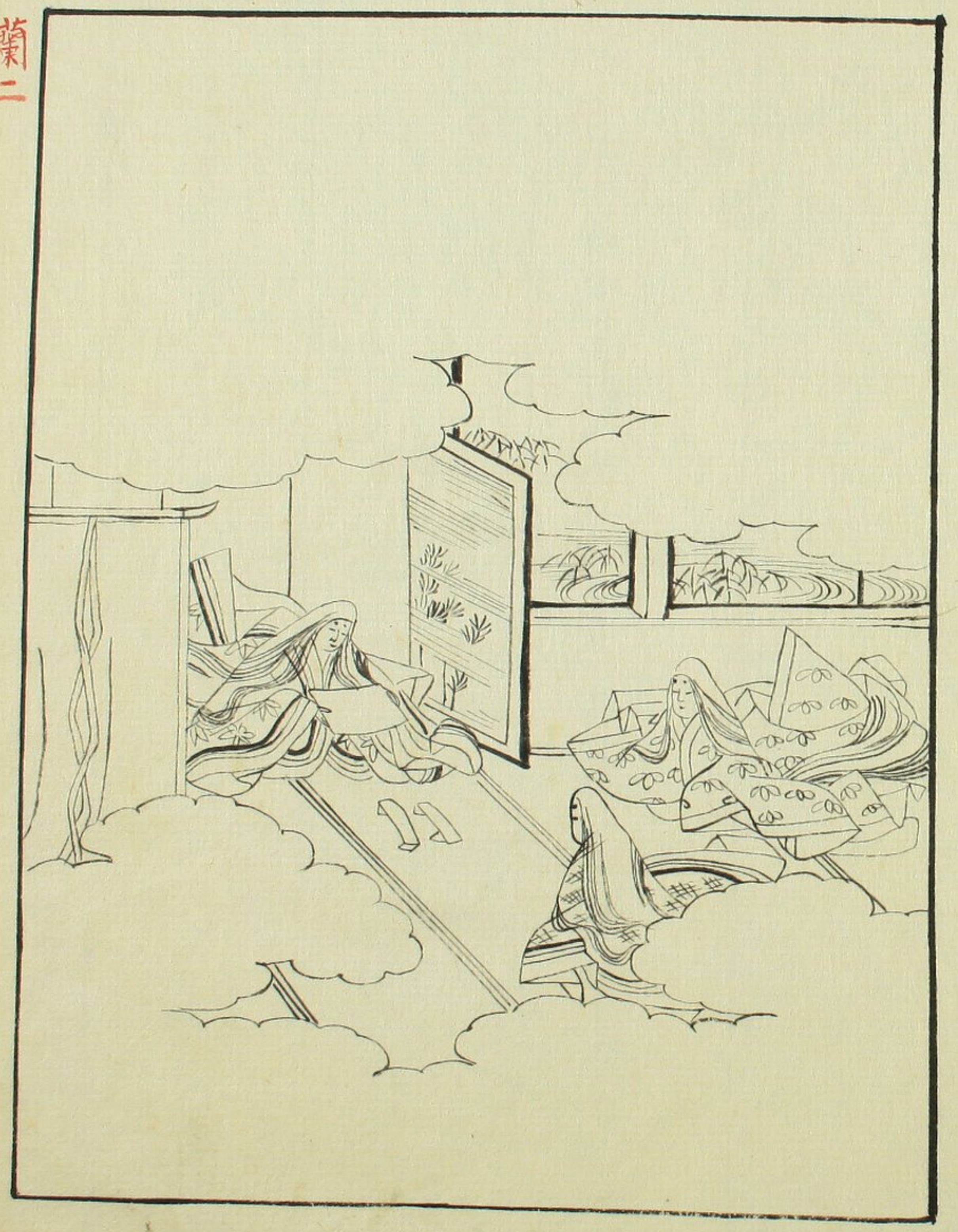
本

花の香は遠くまで届く

蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く

蘭の花は清く白く

蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く  
蘭の花は清く白く



蘭二

柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>

柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>  
 柏 <sup>たかし</sup>

柏 <sup>たかし</sup>

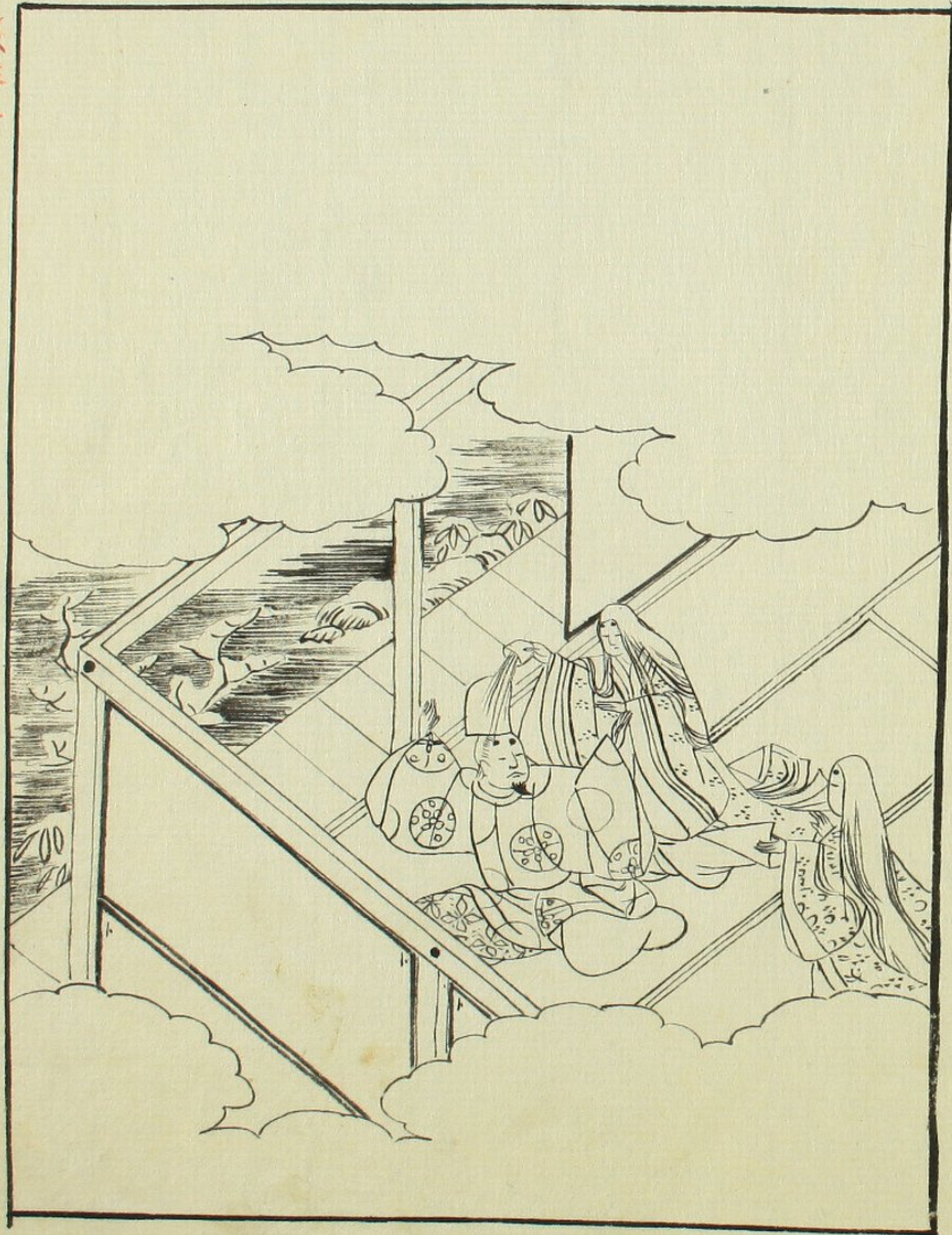
源 徳政の十月より十月の秋まで

柏 <sup>たかし</sup>

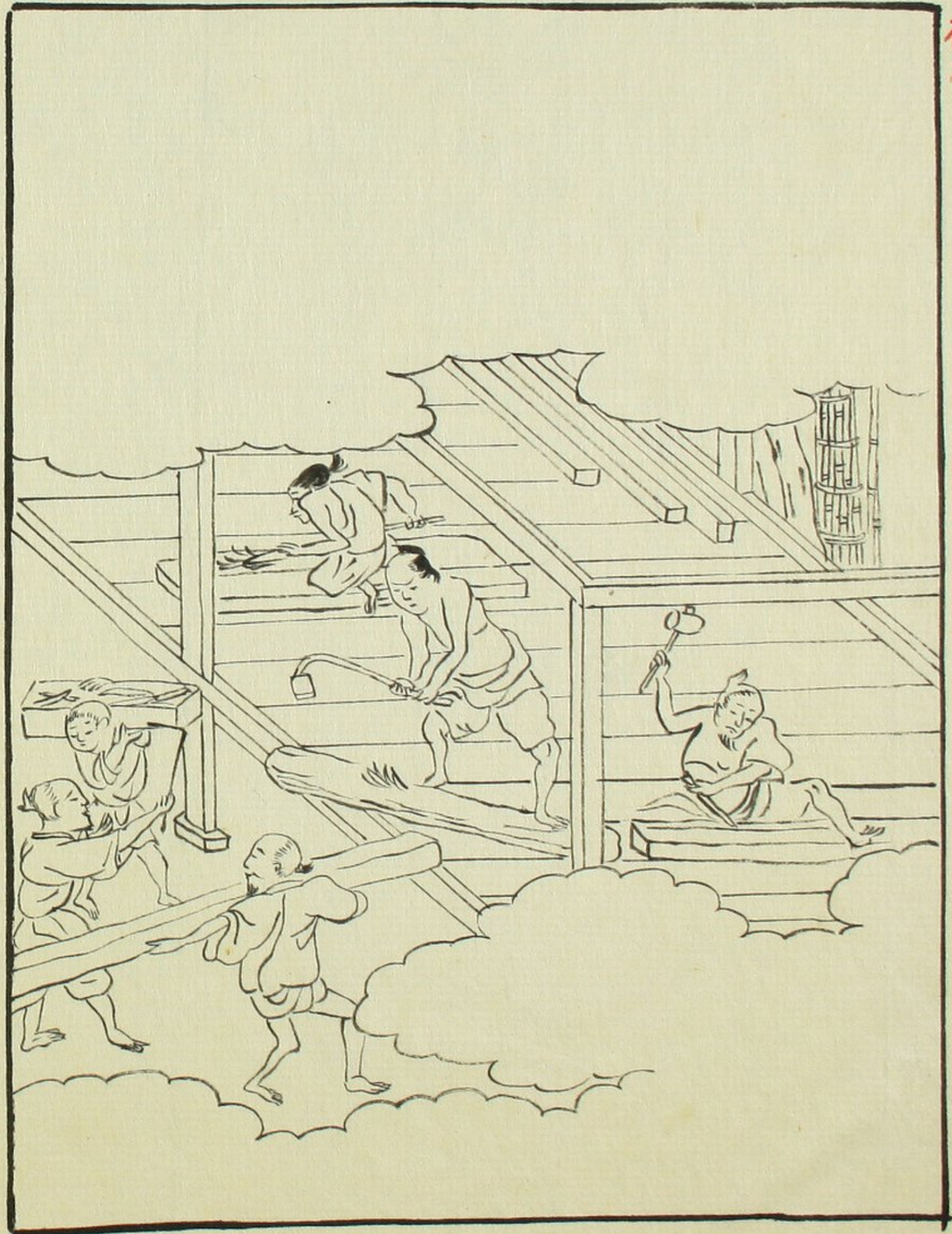
柏 <sup>たかし</sup>

并 九枝 杖 楸のろゝびせ 哥と君ときり 或は 梅ととま 止  
 本 今もやどれぬとて 心ゆくも 残とよる

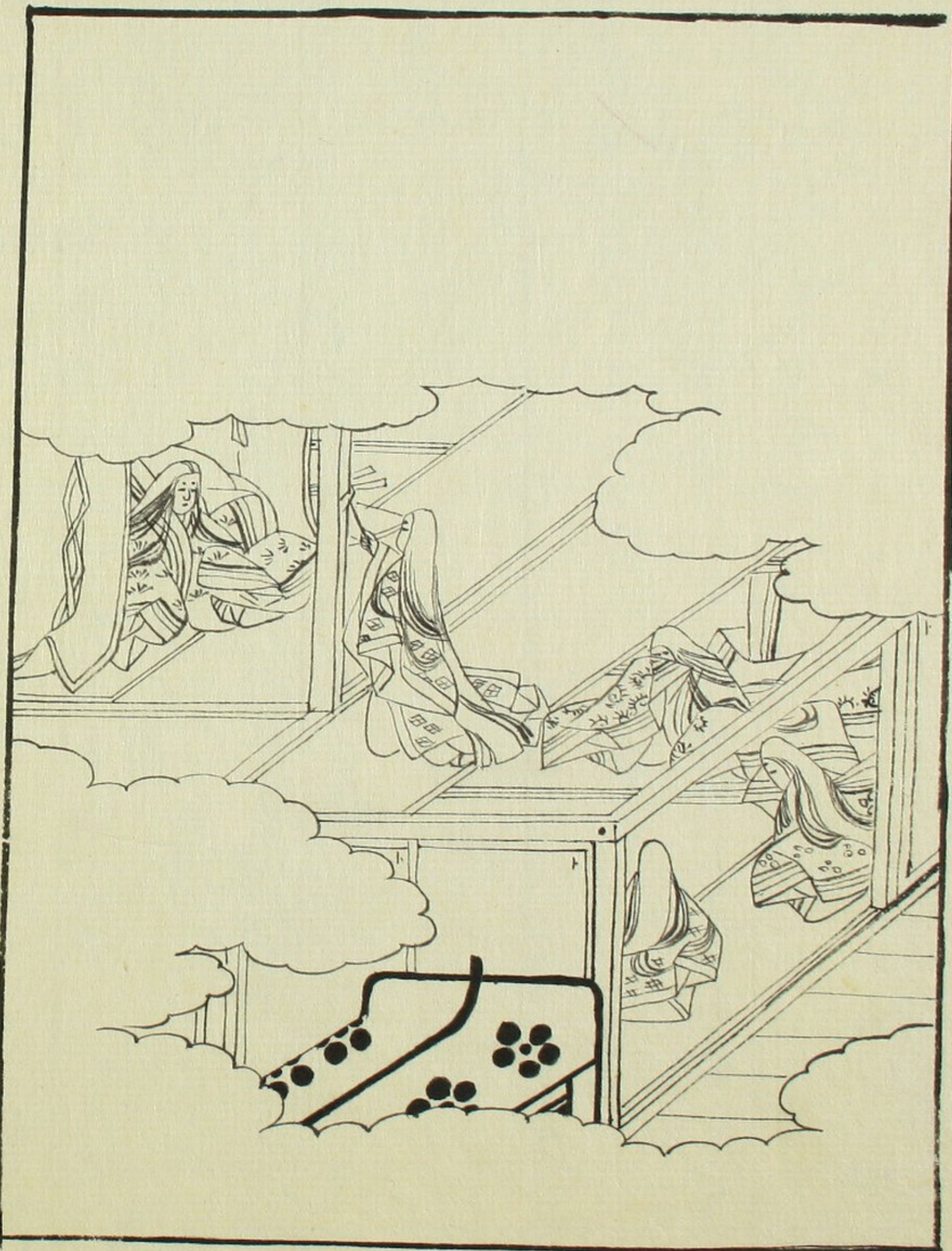
棋柱二



棋柱一







源 海可あはれなるわらわのこころを

わらわのこころを

あはれなるわらわのこころを

あはれなる

九重は露くぐり梅のまゝむぐさうを

白ひらとや

あはれなるわらわのこころを

あはれなる

あはれなるわらわのこころを

あはれなる

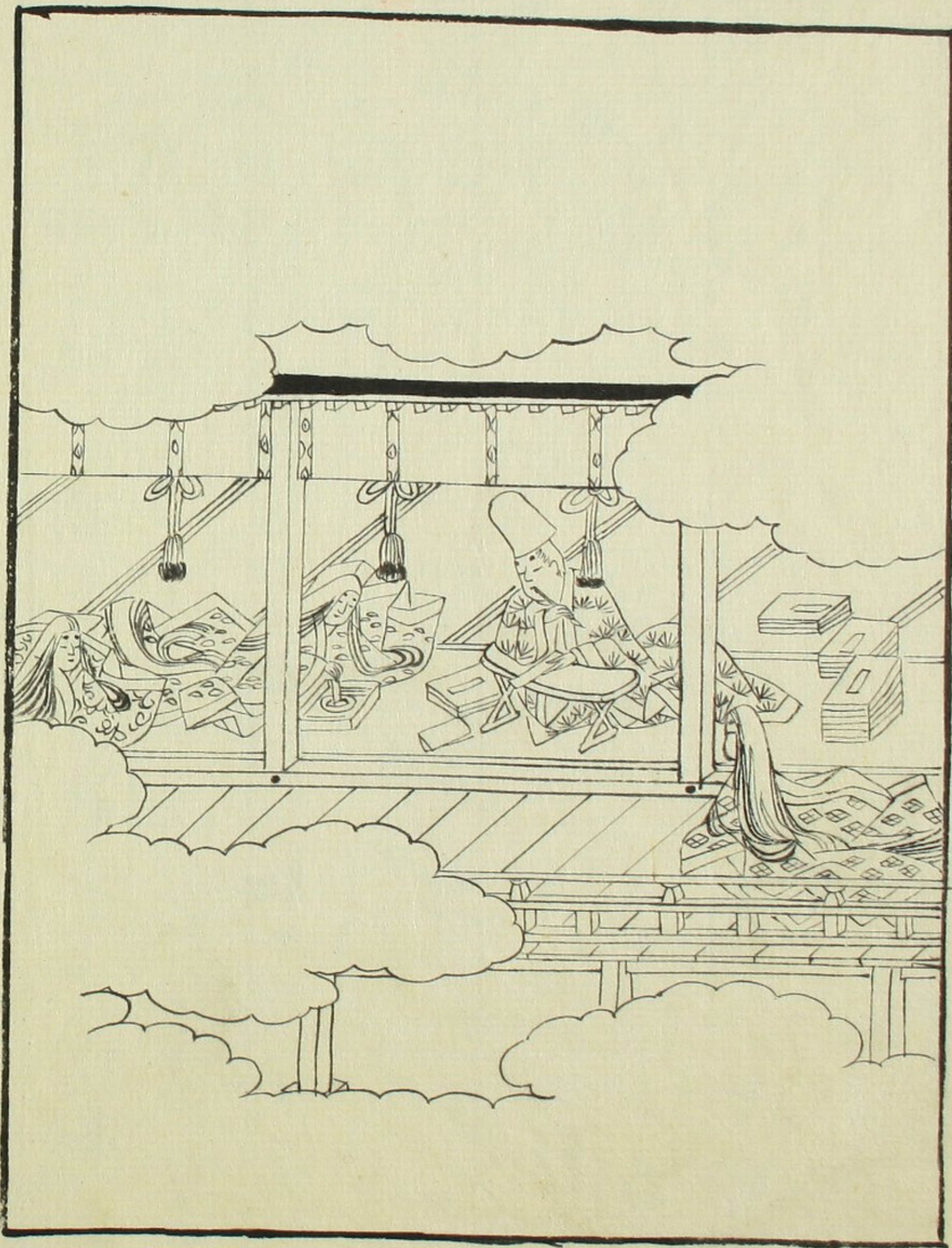
あはれなるわらわのこころを











あけがたのきりぎりすのうた

うたをうたふ

うたをうたふうたをうたふ

うたをうたふうたをうたふ 梅枝終

十九

藤裏一上

藤裏一上 初を名とせり  
源氏九女の三月より十月のうた

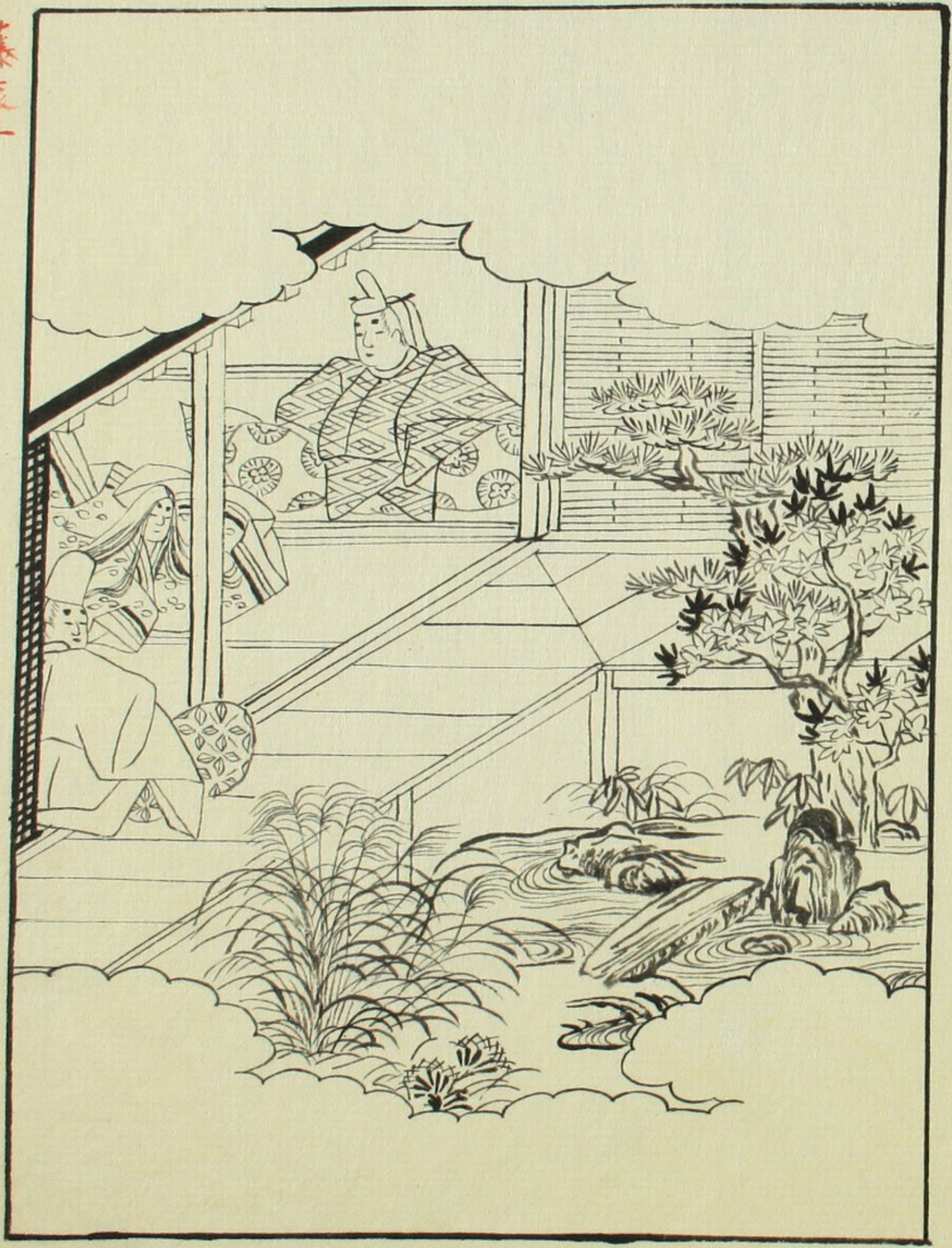
うたをうたふうたをうたふ

うたをうたふ

うたをうたふうたをうたふ  
うたをうたふ



藤原の御願ひに依りて  
ワケ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて  
タ 藤原の御願ひに依りて



あまのつらしき雲のさへもかへりてかみす 雲の  
あまのつらしき

大浦乳母  
あまのつらしき

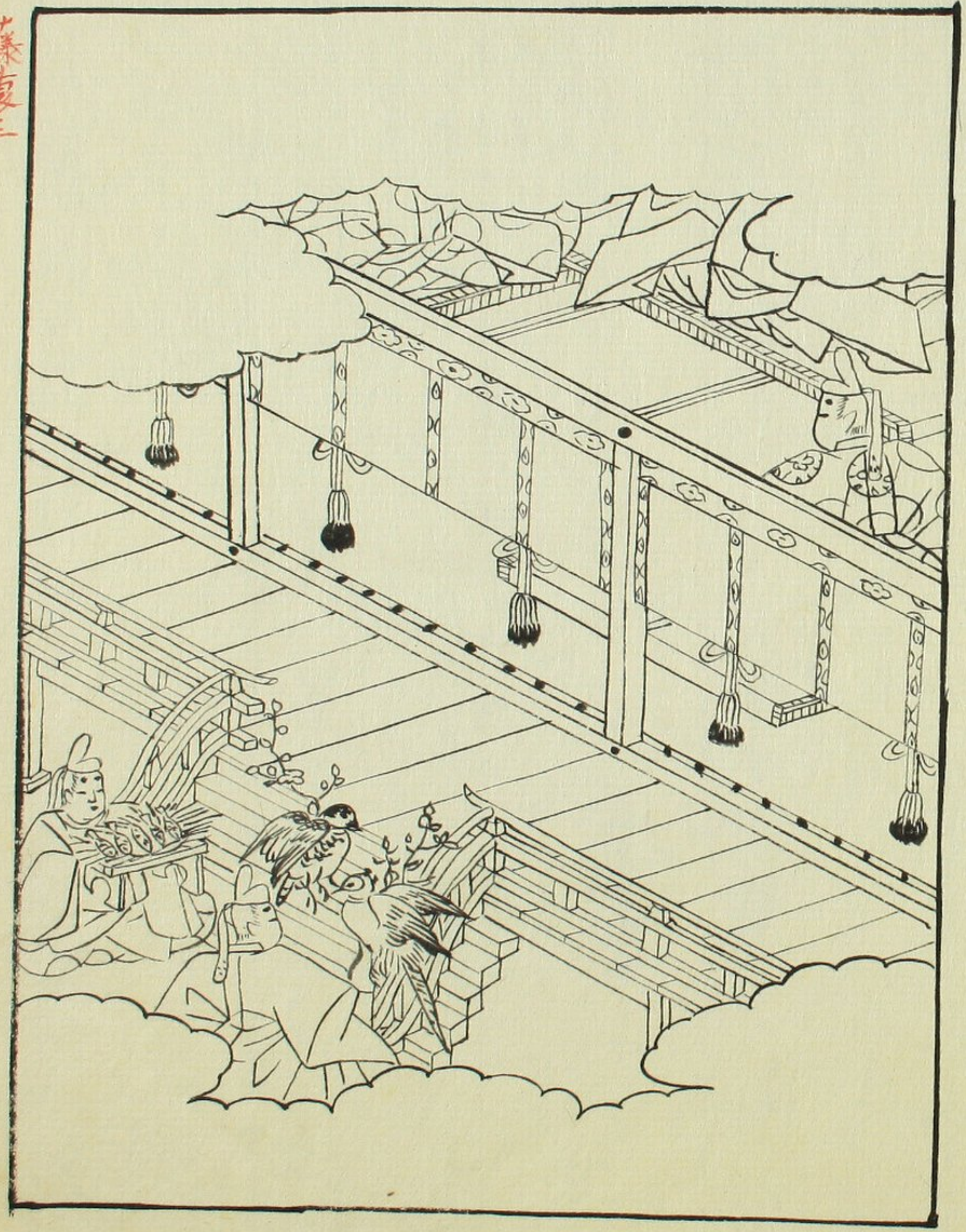
あまのつらしき

あまのつらしき

あまのつらしき

あまのつらしき

あまのつらしき



藤裏三

源 父の事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

秋とていふ事

葉の雲の事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

源 父の事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

朱注

秋をくしおまけの事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの事

ひげの事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

ひげの事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

終

二十の葉上

源氏廿九より百二十五の事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

朱雀院の御門ありいとゆゑの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

例ちの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事

着葉上 一上

女三母の源氏

おまけの御事なるを聞くにいとめでたしといふ御井の事











1885年5月1日  
 東京府立第一中学校  
 校長 佐々木 三郎 様  
 敬啟者  
 本校に在る  
 生徒の  
 一人  
 である  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 貴校に  
 入学  
 する  
 こと  
 を  
 希望  
 する  
 旨  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 本校  
 の  
 成績  
 が  
 優秀  
 な  
 り  
 かつ  
 品  
 性  
 も  
 端正  
 な  
 り  
 本校  
 の  
 教  
 育  
 方針  
 に  
 適合  
 する  
 と  
 判断  
 した  
 こと  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 本校  
 の  
 教  
 育  
 方針  
 に  
 適合  
 する  
 と  
 判断  
 した  
 こと  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います

1885年5月1日  
 東京府立第一中学校  
 校長 佐々木 三郎 様  
 敬啟者  
 本校に在る  
 生徒の  
 一人  
 である  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 貴校に  
 入学  
 する  
 こと  
 を  
 希望  
 する  
 旨  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 本校  
 の  
 成績  
 が  
 優秀  
 な  
 り  
 かつ  
 品  
 性  
 も  
 端正  
 な  
 り  
 本校  
 の  
 教  
 育  
 方針  
 に  
 適合  
 する  
 と  
 判断  
 した  
 こと  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います  
 佐々木 三郎  
 氏は  
 本校  
 の  
 教  
 育  
 方針  
 に  
 適合  
 する  
 と  
 判断  
 した  
 こと  
 を  
 申し  
 つけ  
 ました  
 こと  
 を  
 承  
 知  
 した  
 と  
 思  
 います

若菜上 二上











若菜上三下



此  
 のまらちくうつれいさるる中をわらわ  
 とく<sup>よのこ</sup>ねひらぶあつりりしむのまらちく<sup>源</sup>とさりて  
 こゆていさるるいさるるどげなこいりりりり  
 命<sup>源</sup>こももを絶つていさるるいさるる  
 申<sup>りさる</sup>の契と





<sup>源</sup>申しは紙へづろ程もけれまよひてあは  
 けさのあまを梅よつげぬり人のあそぶのさ  
 度よりあまをよしの路やぐりていへ  
 りくおりまよひてされどよもさゆてあな  
 まさうりぬつ友まゆをれほのよゆれり人  
 打ちりそよをと旅ゆ入り<sup>うい</sup>のりやうりちり  
 紅梅のすゑよりちを<sup>う</sup>を袖そよゆ人とあな  
 ひささくしてまをあげてるあゆふか  
 長よまよひ人のあやまよもさくおと  
 指りずりちあめされぬあゆむと  
 ろ程さくさくまれづりぬて<sup>女</sup>あまよも



世の女三のあまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

若菜上西中下



地 二束の文ノ赤村ノ勝の川有也

源と  
源と  
年月のいふことよまかぬわらわらしく  
笑のよあつて文のいふまゝあつて  
交のうちのおぼへるまゝいふこと  
もうよらん昔よつておぼへる  
始まれしころをわらわらしくいふこと

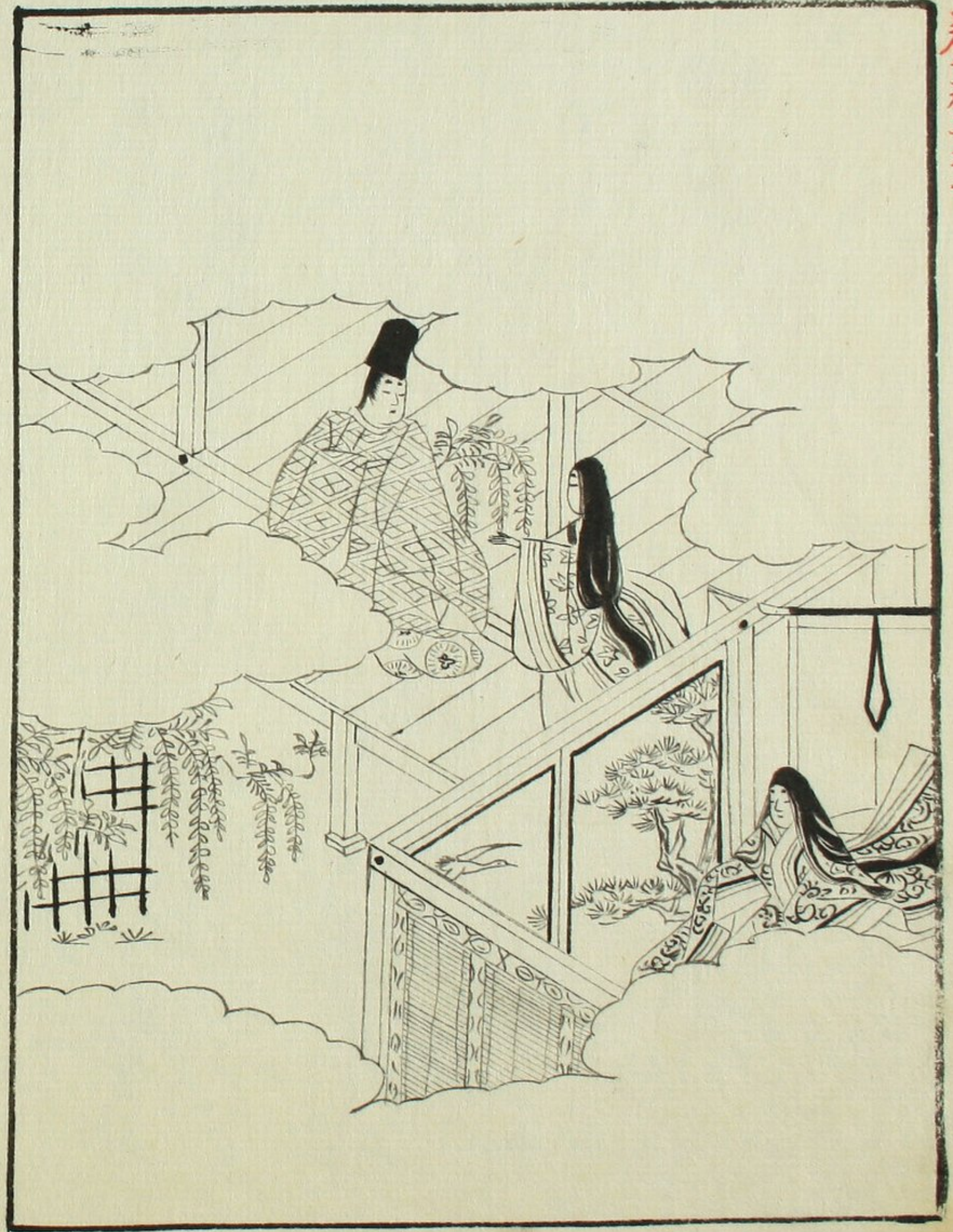
年月と中よ備ておぼへる

今一たびの封面にありとすべし  
人のいふことよまかぬわらわらしく  
つねにありとすべし

着茶上五上







<sup>登</sup> 乃よりく秋やふゆえんころのふもへ 菰葉の  
 山もくろくはよりとありある 奥とどめぬ

<sup>源</sup> 水鳥の善葉いふもくろくぬと萩のあふくも  
 水色こくろくぬちぐりこくすくひ路こくも  
 あけし心づくろくぬ水色のこくはをのづくろく

もくろくこくゆるなくもくろくけりもくもくも有るこく  
<sup>源</sup> 衣よおのり今ねいりつこくもくぬいも海ありぬ  
<sup>源</sup> べりればばあむびあむいりもくろくあふより

あむもくろくこくもくろくこくおのり入すも  
 りあむこくろくあむのこくあむのこくあむも  
<sup>源</sup> びれりこくもくろくあむのこくあむのこくあむも  
<sup>源</sup> 差葉上六上









一よら進<sup>ひ</sup>了<sup>り</sup>た<sup>ら</sup>たの<sup>ら</sup>大<sup>い</sup>に<sup>た</sup>申<sup>ま</sup>す<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>を<sup>を</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>め<sup>め</sup>り<sup>り</sup>て  
 つぎ<sup>つ</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>て<sup>て</sup>あ<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>ひ<sup>ひ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>舞<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>  
 さ<sup>さ</sup>よ<sup>よ</sup>糸<sup>いと</sup>人<sup>ひと</sup>の<sup>の</sup>ひ<sup>ひ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>す<sup>す</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>よ<sup>よ</sup>ん  
 む<sup>む</sup>ら<sup>ら</sup>十<sup>じ</sup>ぐ<sup>ぐ</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>ひ<sup>ひ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>す<sup>す</sup>い<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>が<sup>が</sup>よ<sup>よ</sup>ん  
 ひ<sup>ひ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>時<sup>とき</sup>に<sup>に</sup>は<sup>は</sup>糸<sup>いと</sup>人<sup>ひと</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>ん<sup>ん</sup>ざ<sup>ざ</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>く  
 け<sup>け</sup>い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>は<sup>は</sup>目<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>程<sup>ほど</sup>よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ら<sup>ら</sup>ん  
 ち<sup>ち</sup>や<sup>や</sup>う<sup>う</sup>に<sup>に</sup>て<sup>て</sup>ら<sup>ら</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>は<sup>は</sup>目<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>程<sup>ほど</sup>よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ら<sup>ら</sup>ん  
 め<sup>め</sup>ち<sup>ち</sup>れ<sup>れ</sup>ぬ<sup>ぬ</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>は<sup>は</sup>目<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>程<sup>ほど</sup>よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ら<sup>ら</sup>ん  
 中<sup>ちゆう</sup>御<sup>ご</sup>公<sup>こう</sup>湯<sup>ゆ</sup>の<sup>の</sup>持<sup>もち</sup>り<sup>り</sup>て<sup>て</sup>け<sup>け</sup>い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>は<sup>は</sup>目<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>程<sup>ほど</sup>よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ら<sup>ら</sup>ん  
 印<sup>いん</sup>紫<sup>し</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>な<sup>な</sup>は<sup>は</sup>目<sup>め</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>程<sup>ほど</sup>よ<sup>よ</sup>の<sup>の</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>の</sup>ら<sup>ら</sup>ん  
 ね<sup>ね</sup>ん<sup>ん</sup>に<sup>に</sup>て<sup>て</sup>

卷<sup>まき</sup>上<sup>かみ</sup>六<sup>む</sup>下<sup>げ</sup>













ちやーのくぬあそびよ、これ人徳なりれぬ人徳  
びんぐ例の昔々、まぢらうりまぢらうりさかい地乃  
どぢらおりして、ことよちへおほくよふんこのせいで  
おほくおほくひさかた、源へつりてひのりよふく  
もののこちへ、よみいふよめよおほくおほく  
れいさんまをちかへし、源へつりていふく  
ねどもいづ昔の地おほくおほくいふく  
くちらちへ、いふくいふくいふく  
つらむいふくいふくいふく  
あまいたびあつて地の御座りまはつち  
急いちまはつちえよめおほくおほく

やうらゝお翠、この地に御座りまはつち  
のまはつちまはつちのまはつちのまはつち  
ちぢらつちまはつちまはつちまはつち  
じくらつちまはつちまはつちまはつち  
ちぢらつちまはつちの官人のうぢ大おほくおほく  
あつちまはつちまはつちまはつちまはつち  
内長次一院おほくおほくのまはつちまはつち  
ちぢらつちまはつちまはつちまはつち  
まはつちまはつちまはつちまはつち

若菜上七中下

老の流るゝある浦よ立寄てさるるくあまは  
 流るゝがめん音のせよまやうららるる人こころ  
 やりされてらんゆけりともさも流すりちるるま  
 ね あまは ね あまは ね あまは  
 とも あまは とも あまは とも あまは  
 せと あまは せと あまは せと あまは  
 ころころ

報物色と  
まがめ

むまれ流るゝとさるゝそのころのそねのまよ  
 ゝ あまは ゝ あまは ゝ あまは  
 山のたふり月目の光もやうららるる  
 ても あまは ても あまは ても あまは  
 光よあまのさるゝとさるゝとさるゝと  
 さるゝとさるゝとさるゝとさるゝと  
 ね あまは ね あまは ね あまは  
 とも あまは とも あまは とも あまは  
 せと あまは せと あまは せと あまは  
 ころころ

差菜上七下









御遊覧 若菜系上九上



若菜系上八下









源氏平下又四十六卷下二 上巻末下二

柏 柏  
うらやまの松の神の  
とてなむらむら

源 源  
うらやまの松の神の  
うらやまの松

元 元  
うらやまの松の神の  
うらやまの松

うらやまの松の神の  
うらやまの松

うらやまの松の神の  
うらやまの松



若菜下二

神人神人の

中務の

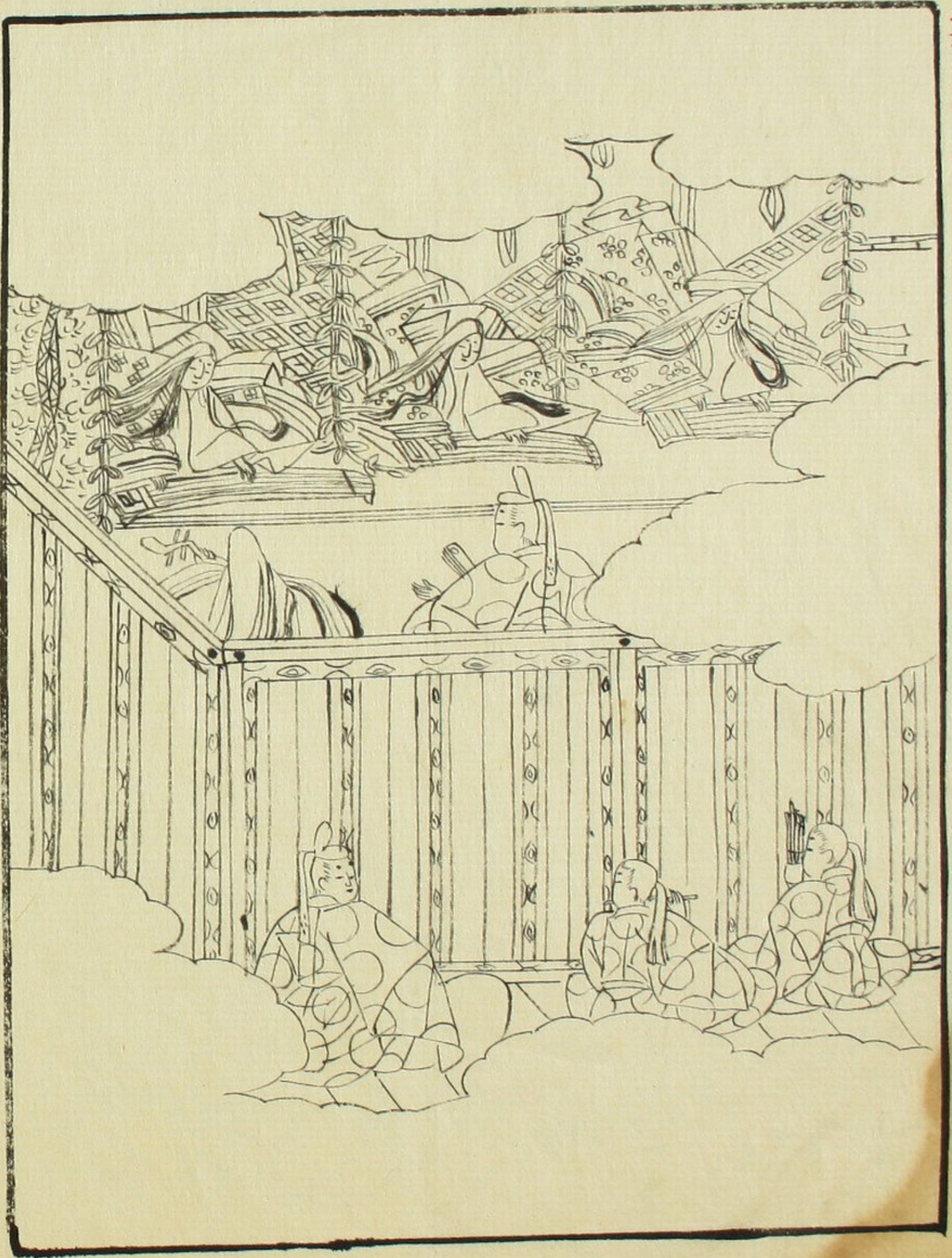
の

の

の

の

の



柏

あさぐりそもあ〜れぬ明書よらづ〜の

あ女三のりら袖ちり

す女三〜ちる〜あ路ちり

女三

あひぐれのちりようちり〜ちり〜ちり〜ちり

ちり〜ちり〜ちり〜ちり

柏

ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり

ちり〜ちり〜ちり〜ちり

柏

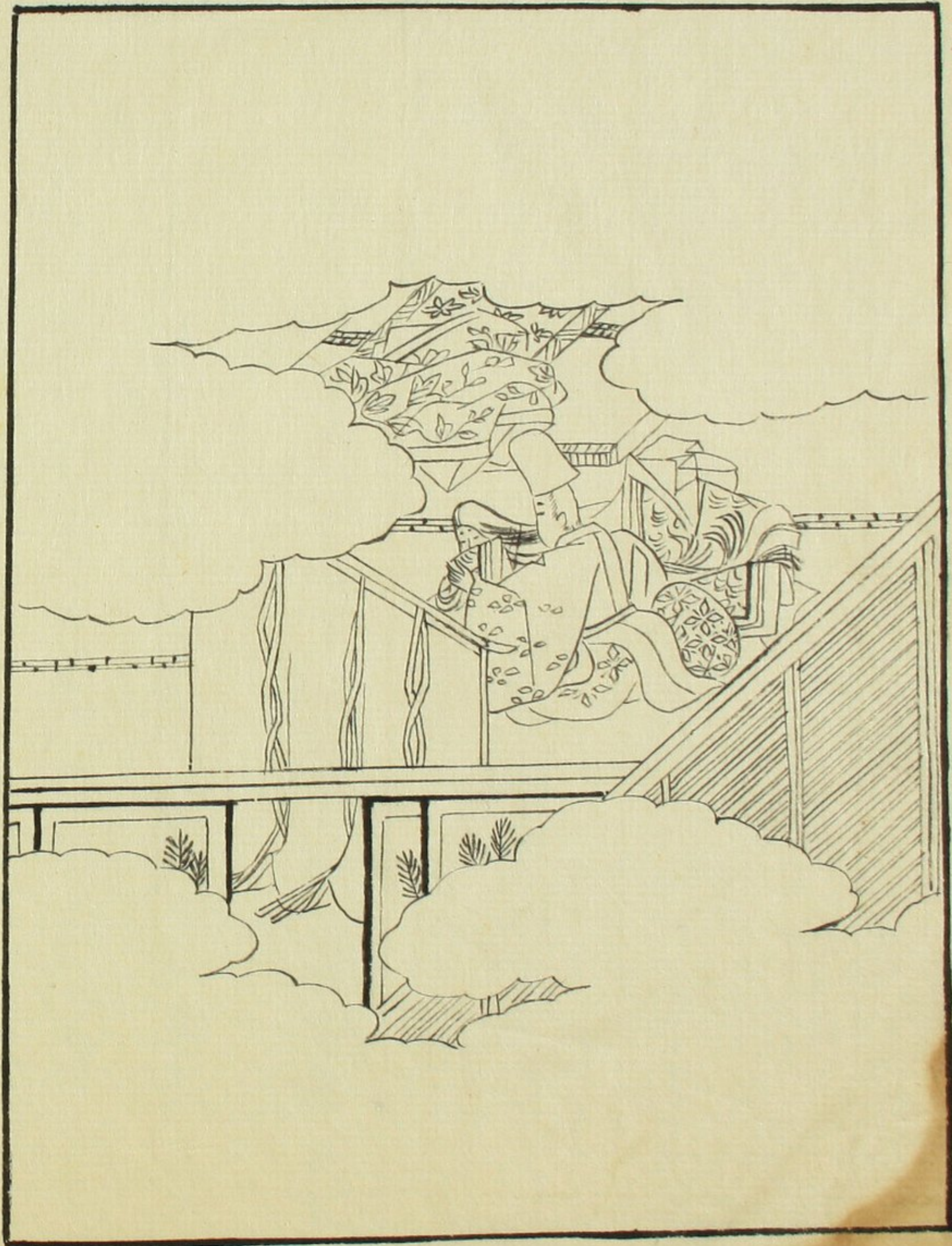
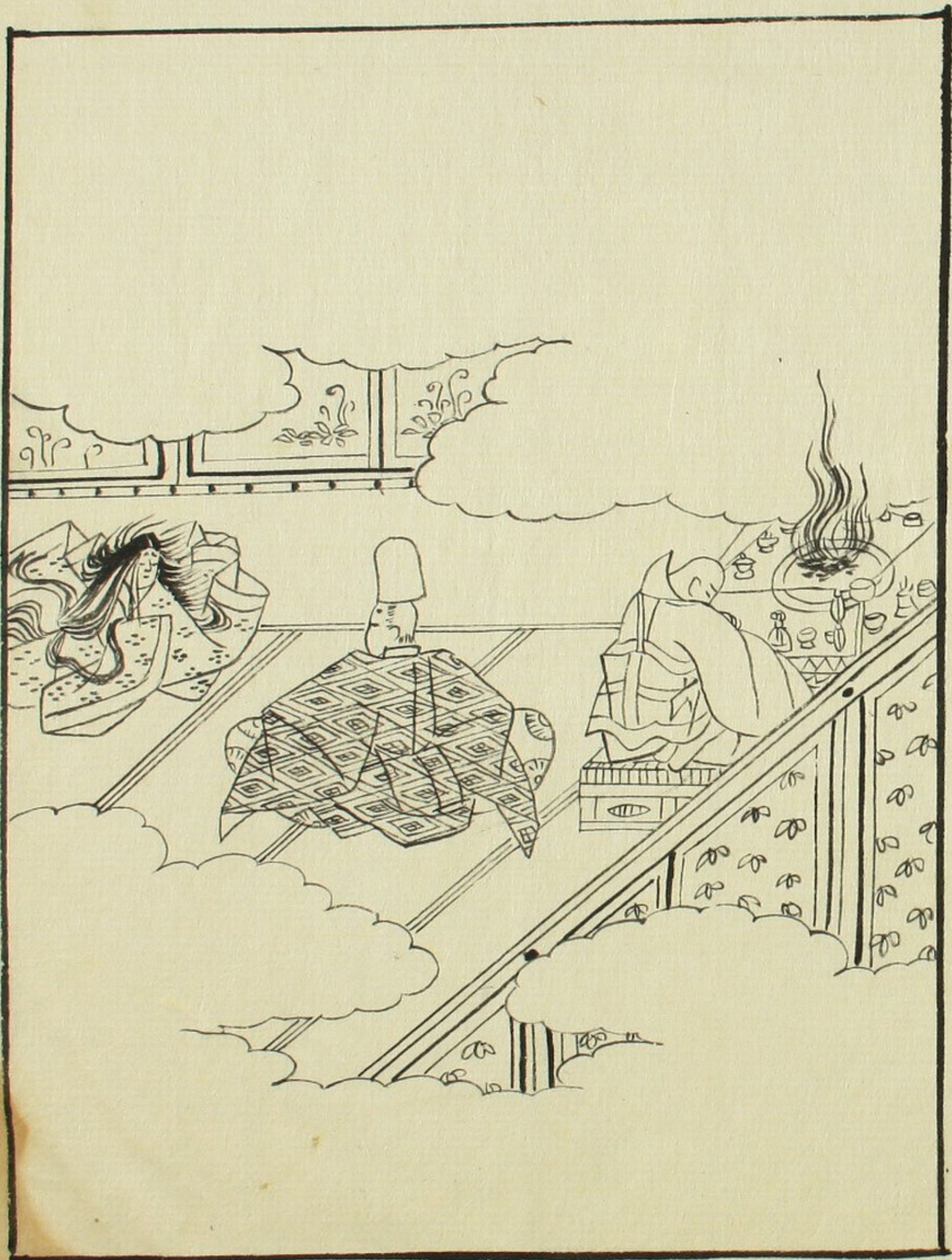
ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり

ちり〜ちり〜ちり〜ちり

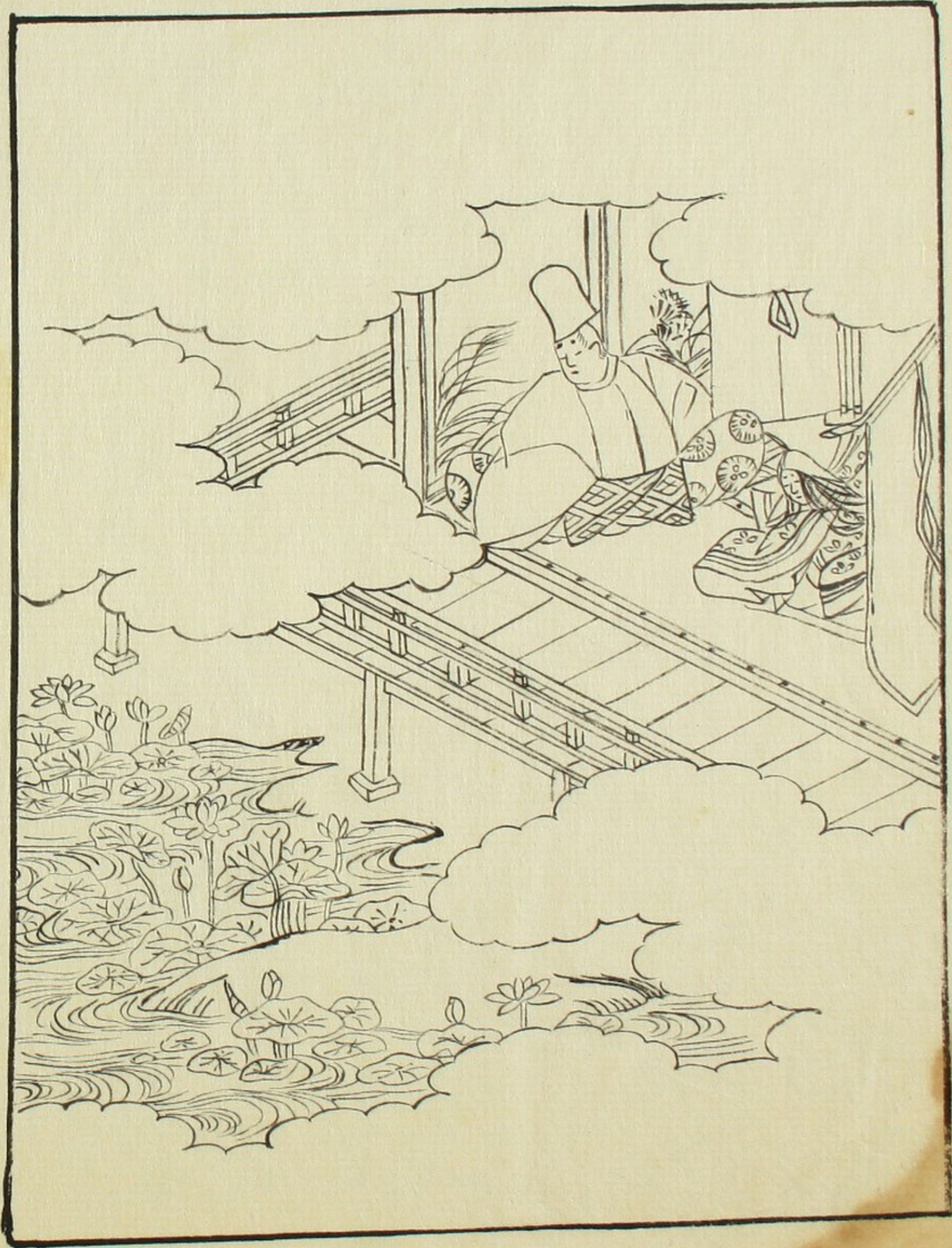
ちり〜ちり〜ちり〜ちり

ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり〜ちり

れすりちり〜ちり〜ちり







女三  
ゆふあし袖ぬきまや日ぐらゝのちいぢ

まじくおさやゆうこ

源  
まじくおさやゆうこ

まじくおさやゆうこ

源  
まじくおさやゆうこ

まじくおさやゆうこ

若菜下七

